

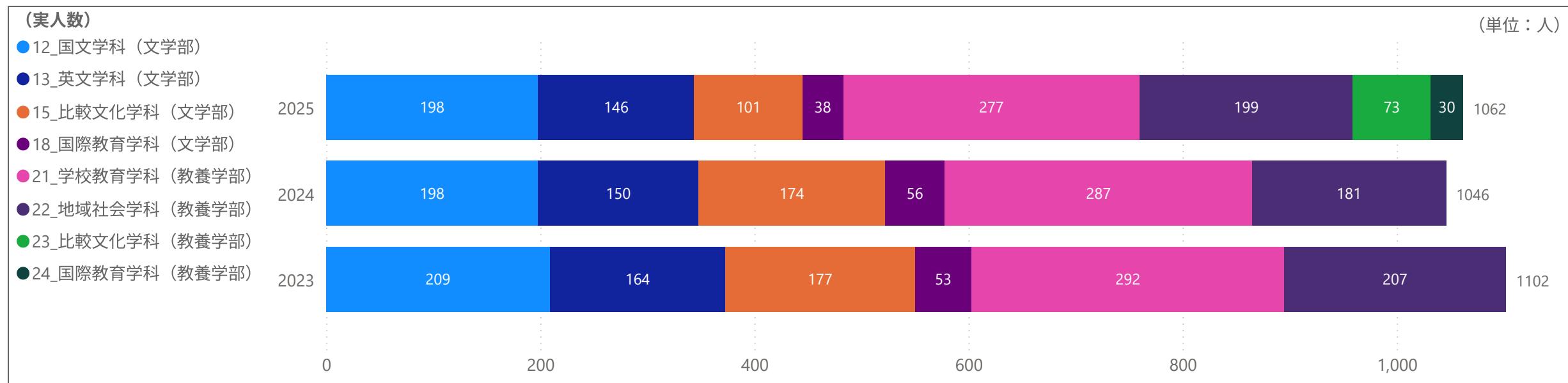
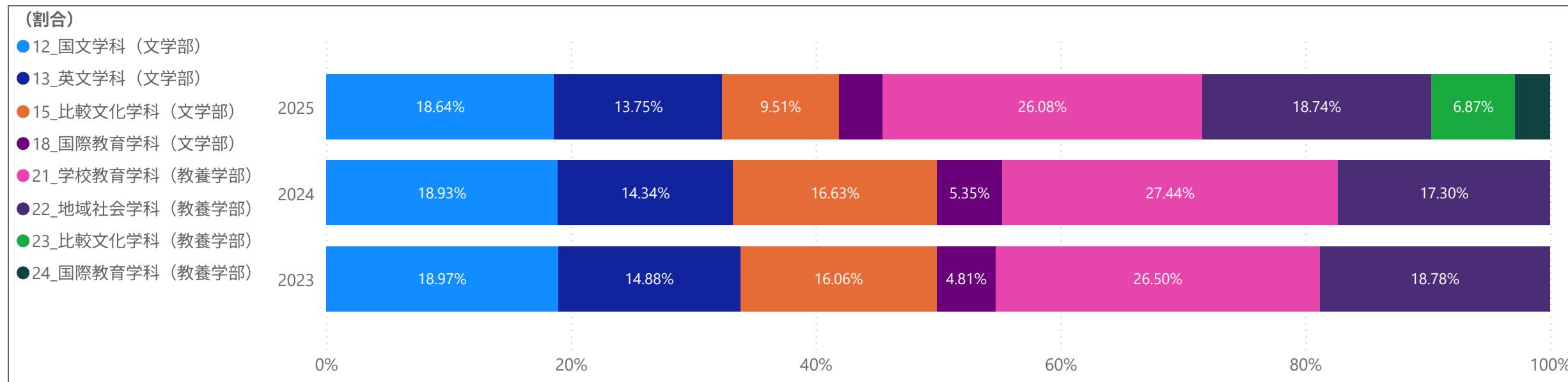
在学生満足度等調査

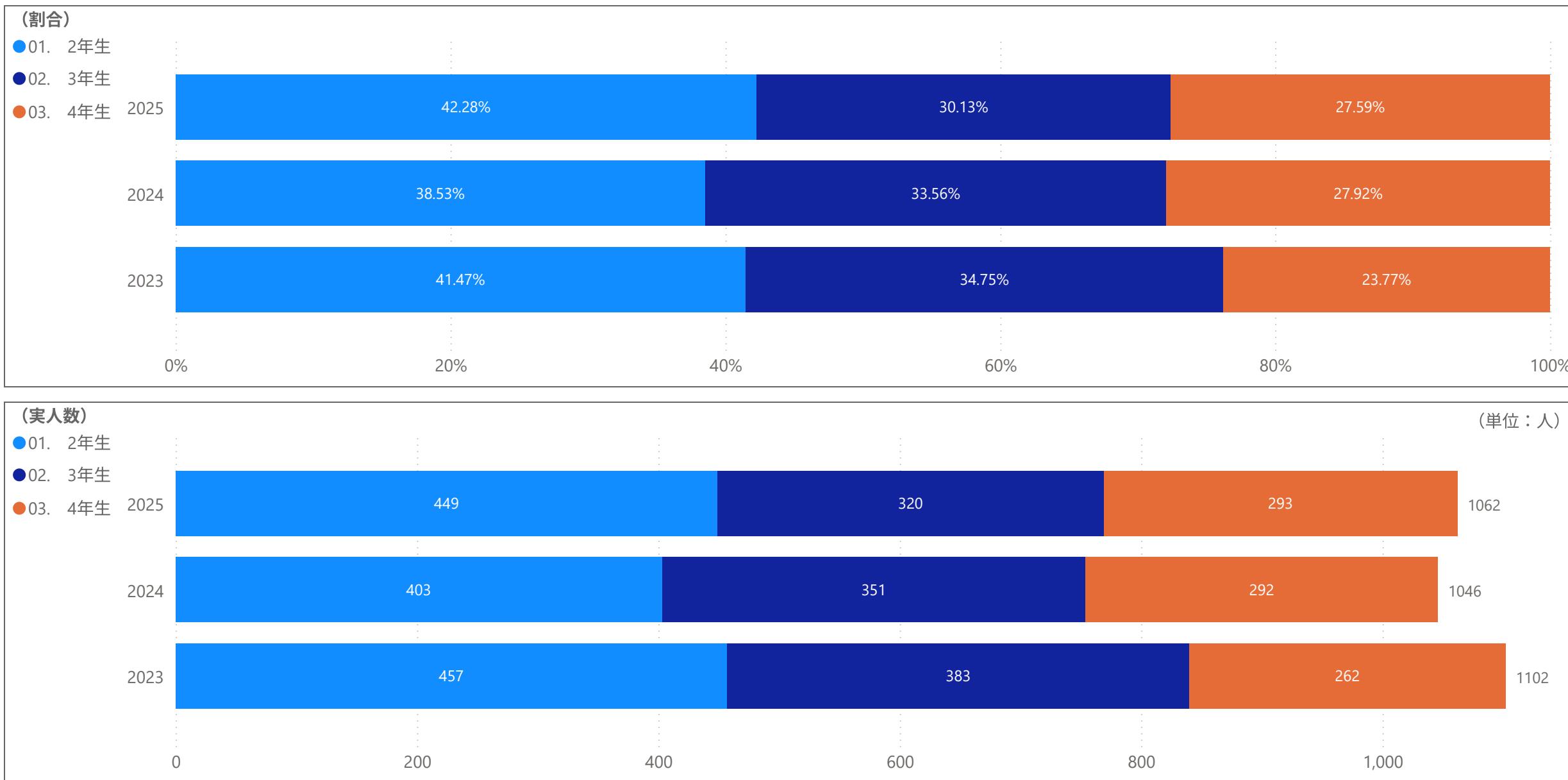
2025年 対象者数：2,595名 回答者数：1,062名 回答率：41%

2024年 対象者数：2,540名 回答者数：1,046名 回答率：41%

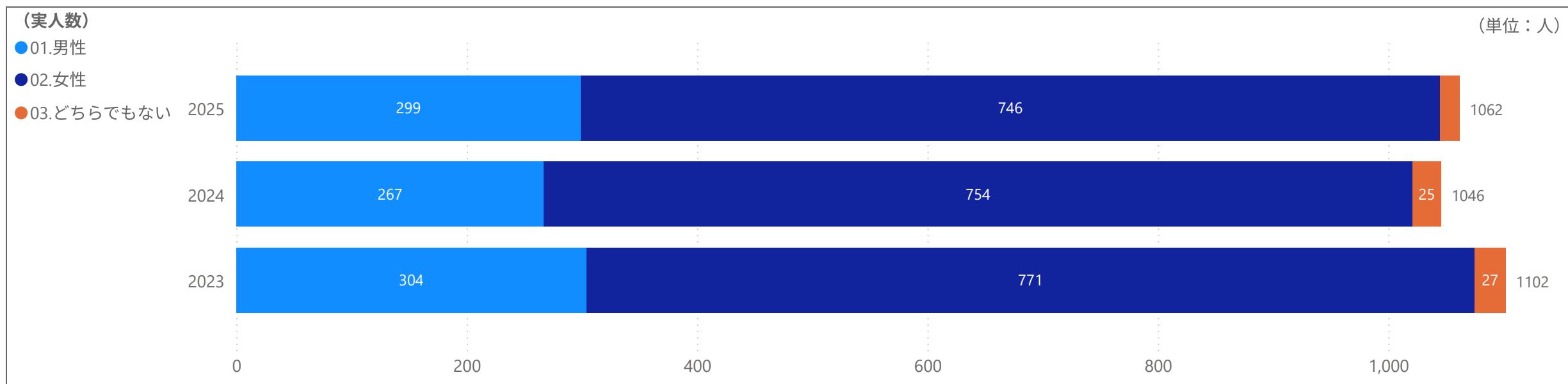
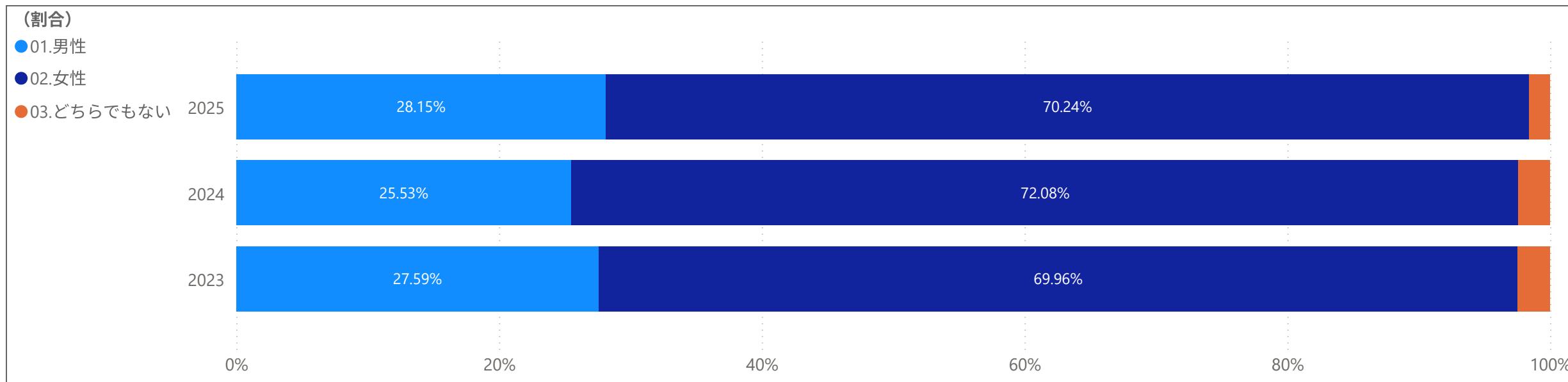
2023年 対象者数：2,669名 回答者数：1,102名 回答率：41%

01.学部学科

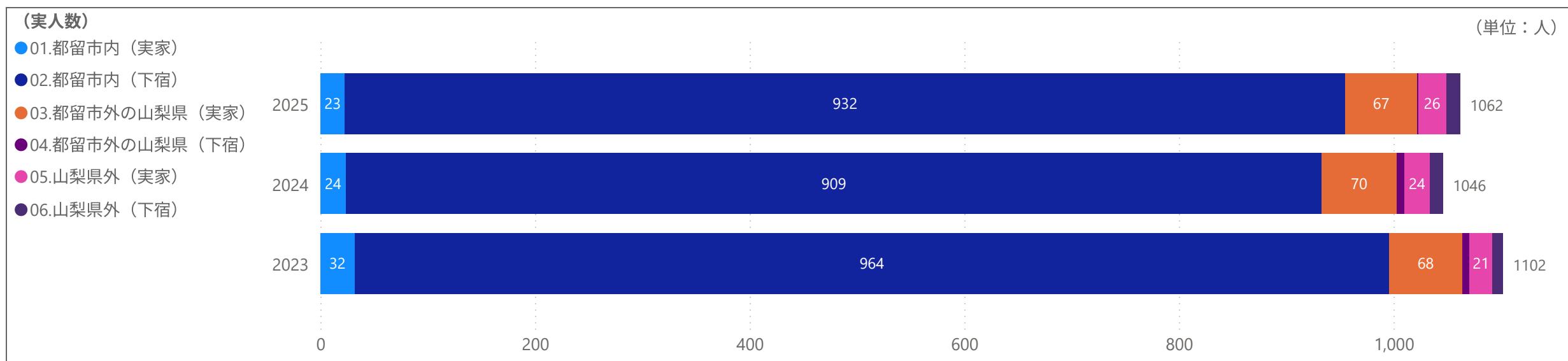
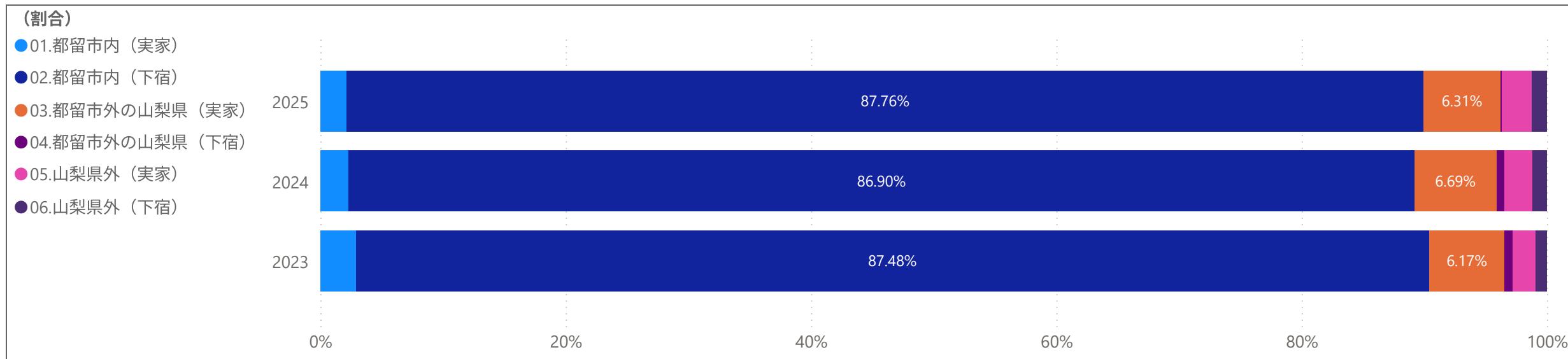




03.性別

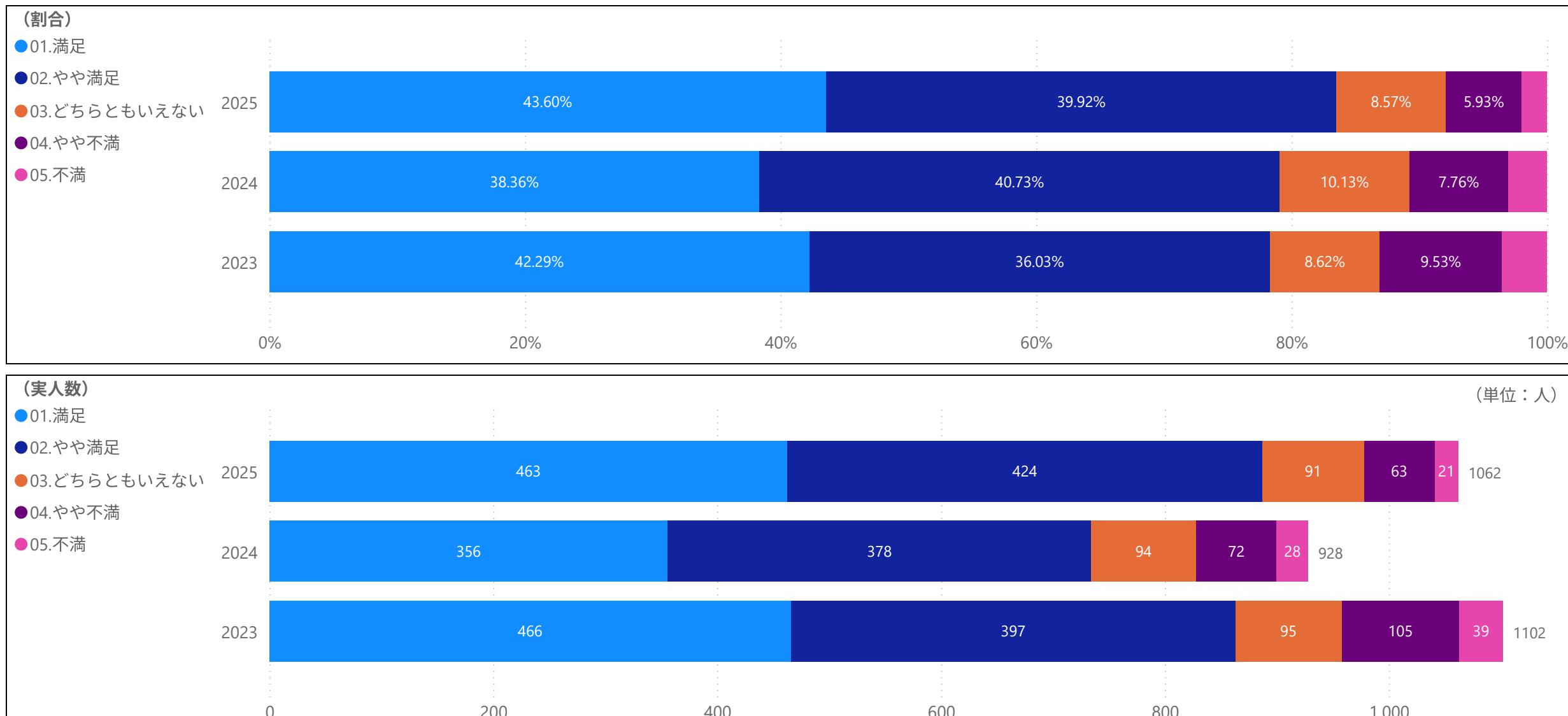


04.大学通学時のお住まい



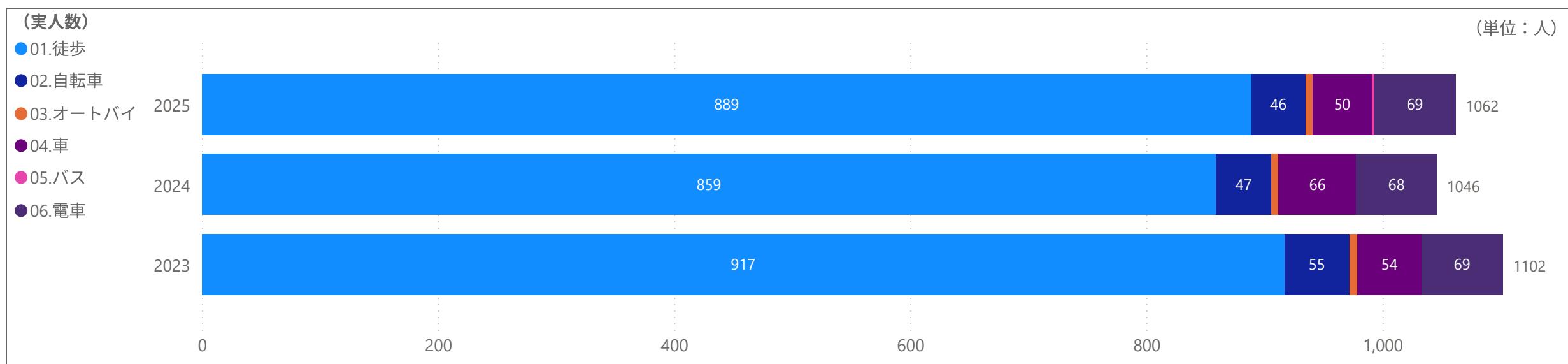
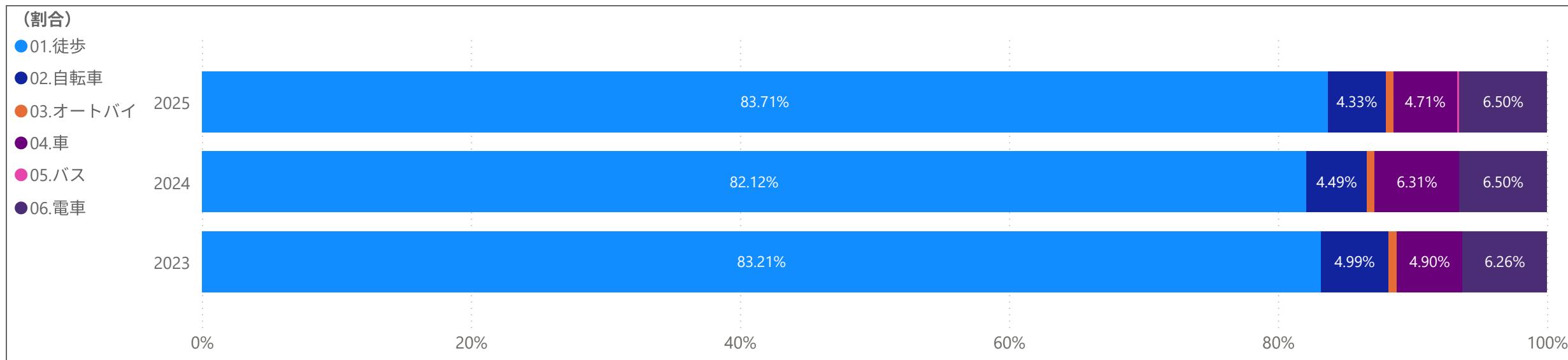
大学通学時の住まいを比較して、大きな変動はなく、都留市内での下宿の割合が9割弱を占めている。

07.現在の下宿や住宅の状況に満足しているか



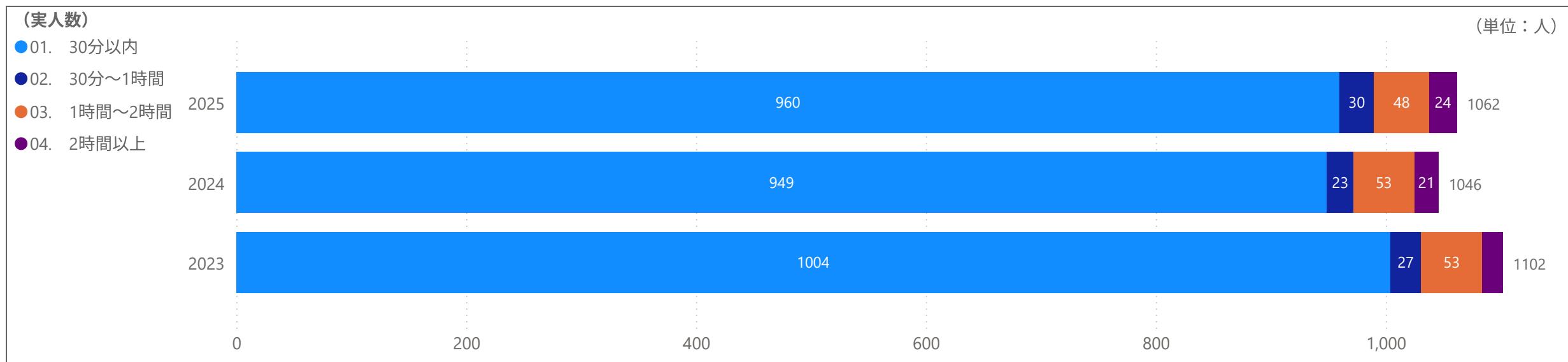
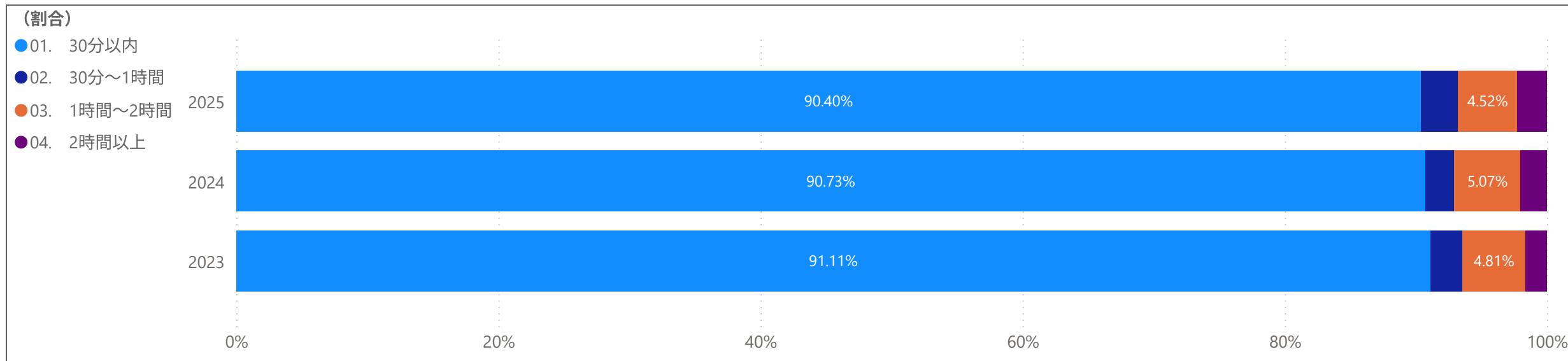
約8割が、現在の下宿や住宅の状況に満足している。

08.現在の通学方法



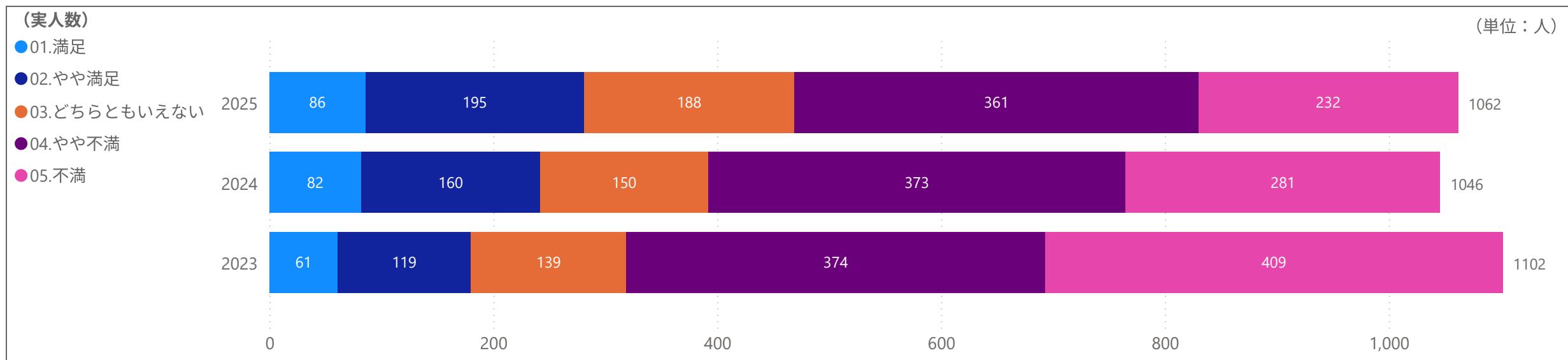
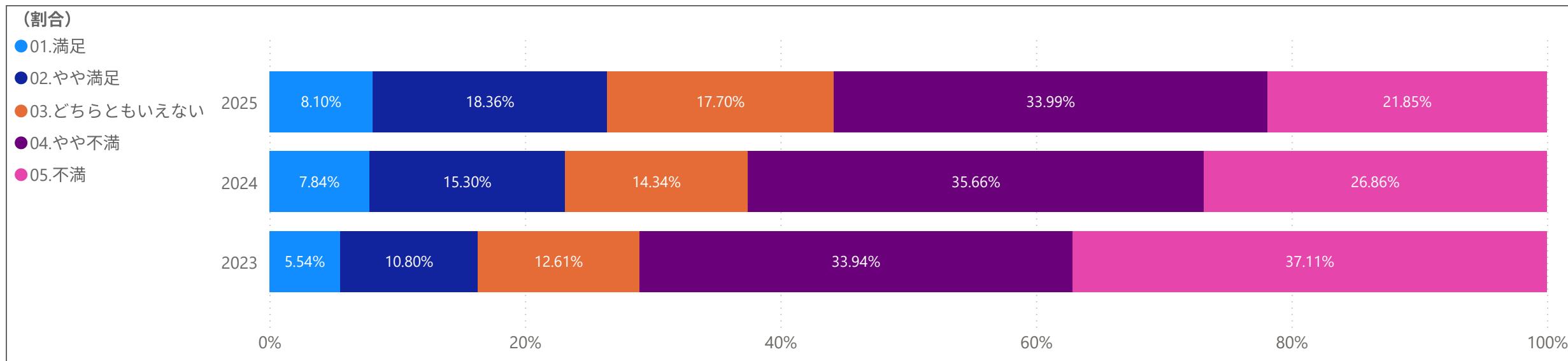
通学方法について、8割以上が「徒歩」である。

09.通学時間について



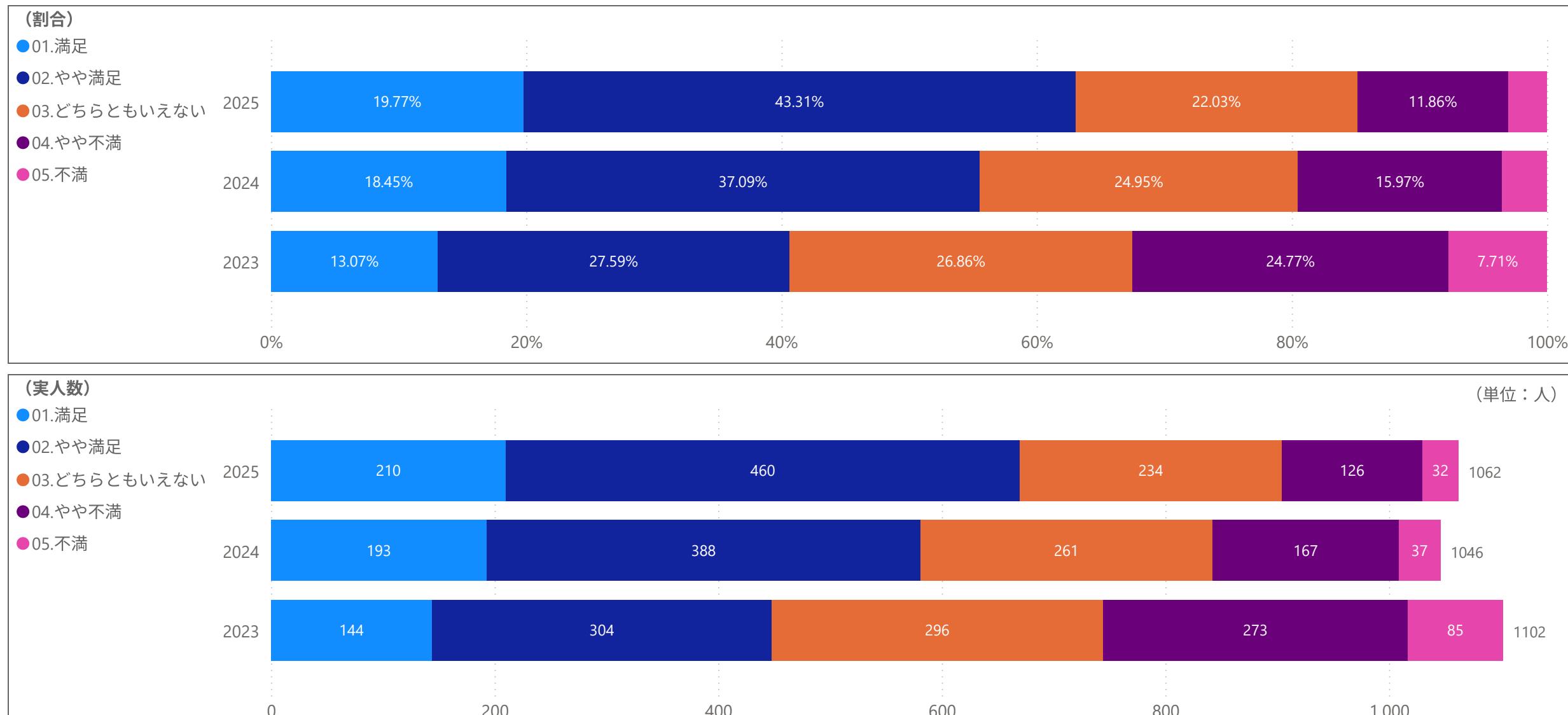
通学時間について、約9割が「30分以内」である。

10.都留市で学生生活を送る上で、交通の便に満足しているか



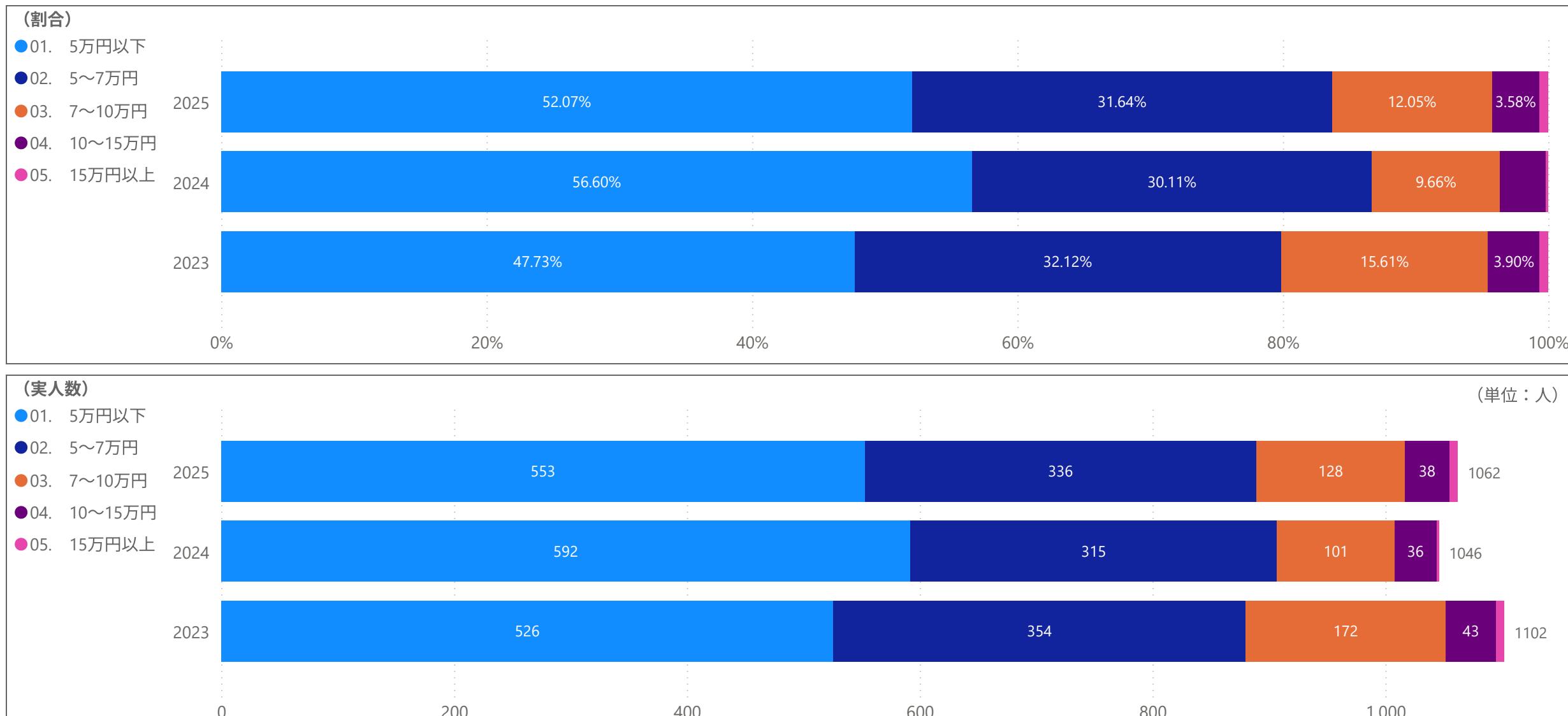
都留市で学生生活を送る上で、交通の便に満足している学生の割合は年々増加しているが、3割未満にとどまる。

11.都留市で学生生活を送る上で、治安に満足しているか



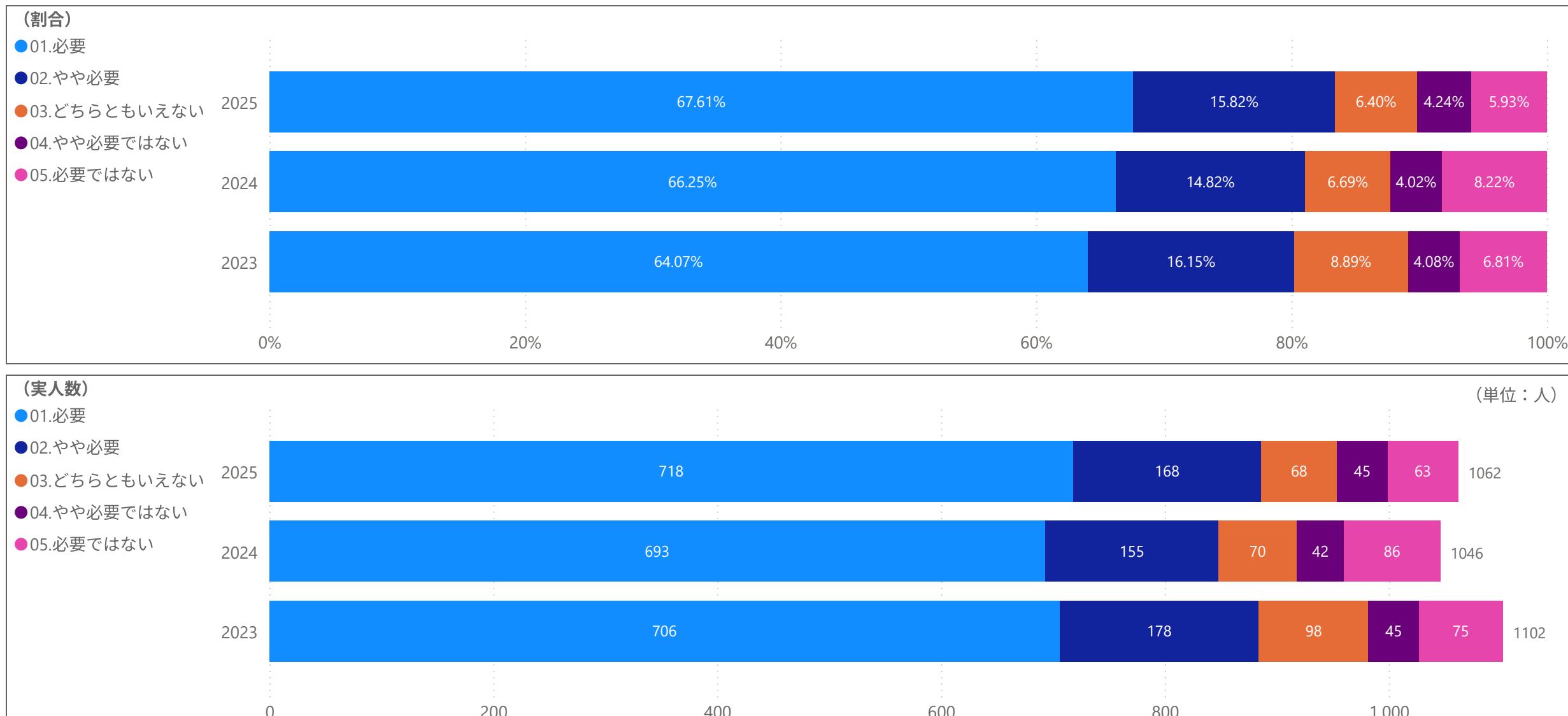
都留市で学生生活を送る上で、治安に満足している学生の割合は年々増加しており、2025年度では約6割である。

15.1ヶ月の生活費について



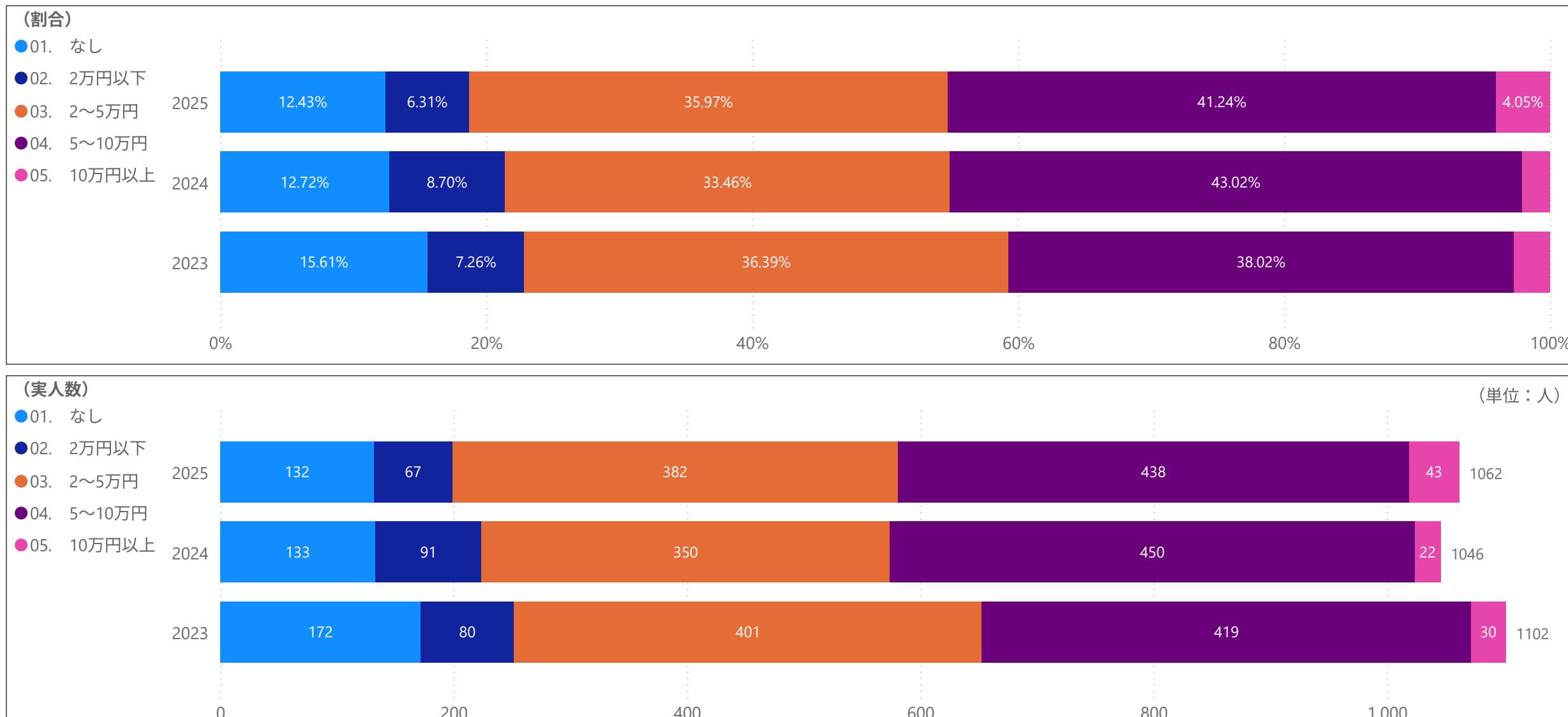
1ヶ月の生活費は「5万円以下」の割合が半数を占めている。

17. 学生生活を継続していく上で、アルバイトは必要か



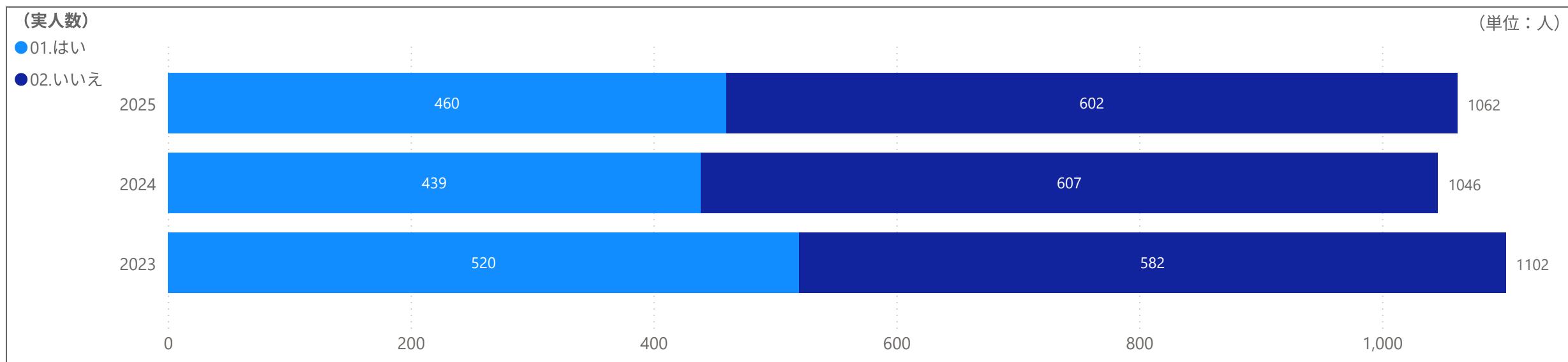
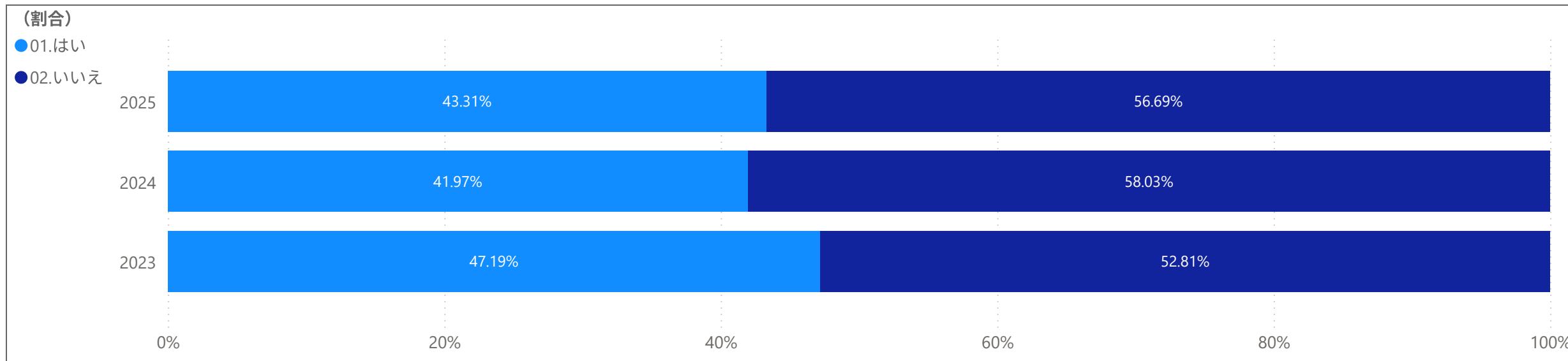
学生生活を継続していく上で、アルバイトが必要だと感じている学生は、年々増加している。

18. 1ヶ月のアルバイト収入について



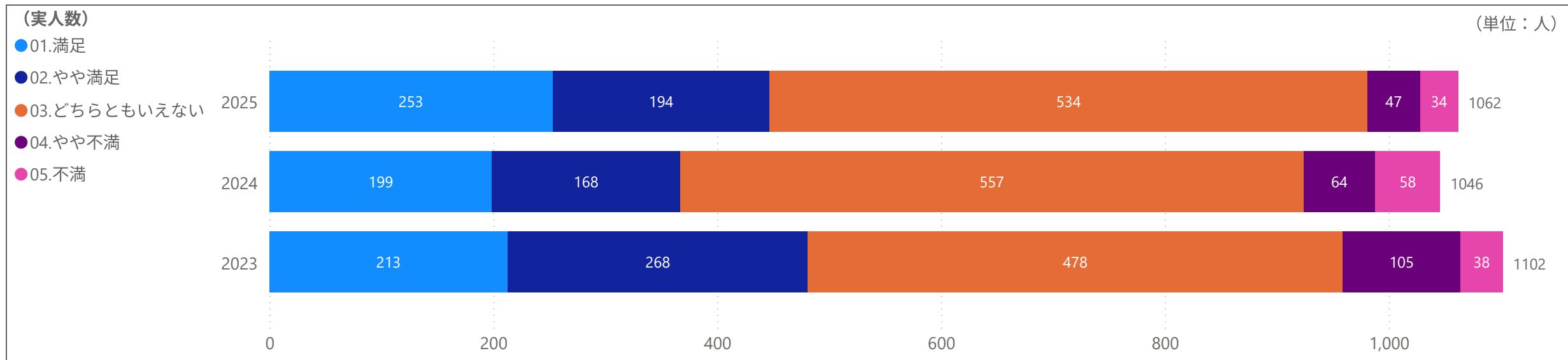
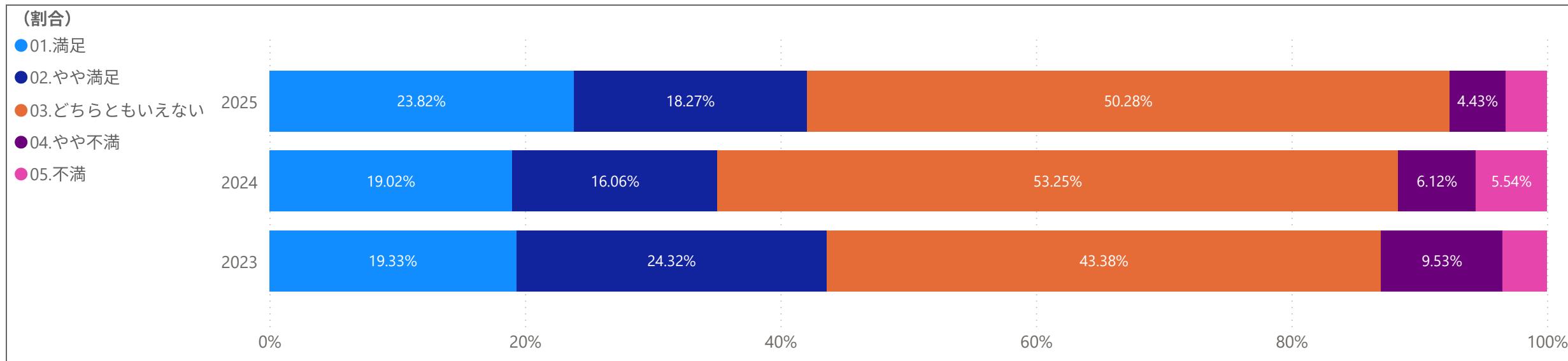
1ヶ月のアルバイト収入について、「5~10万円」の割合が最も高い。

19. 何らかの奨学金を受けているか



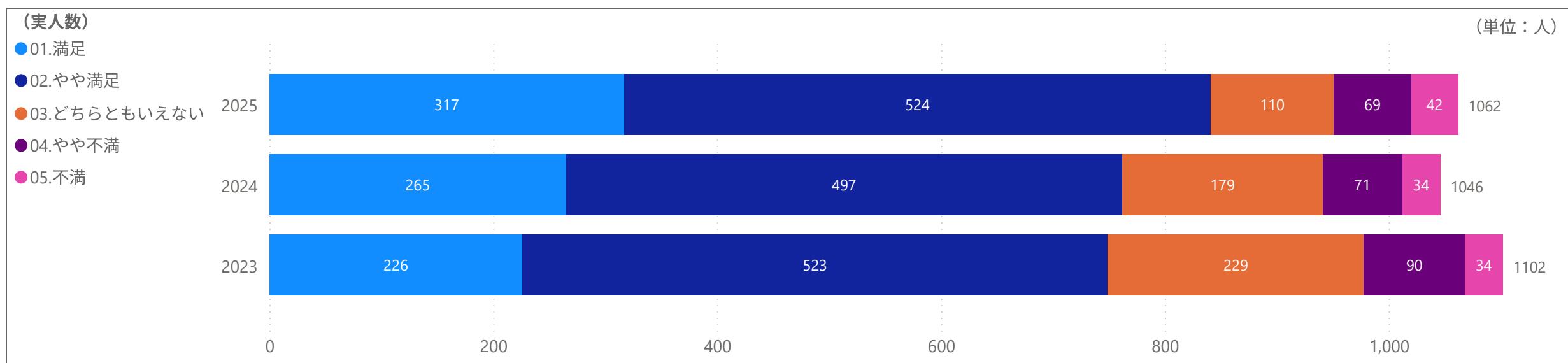
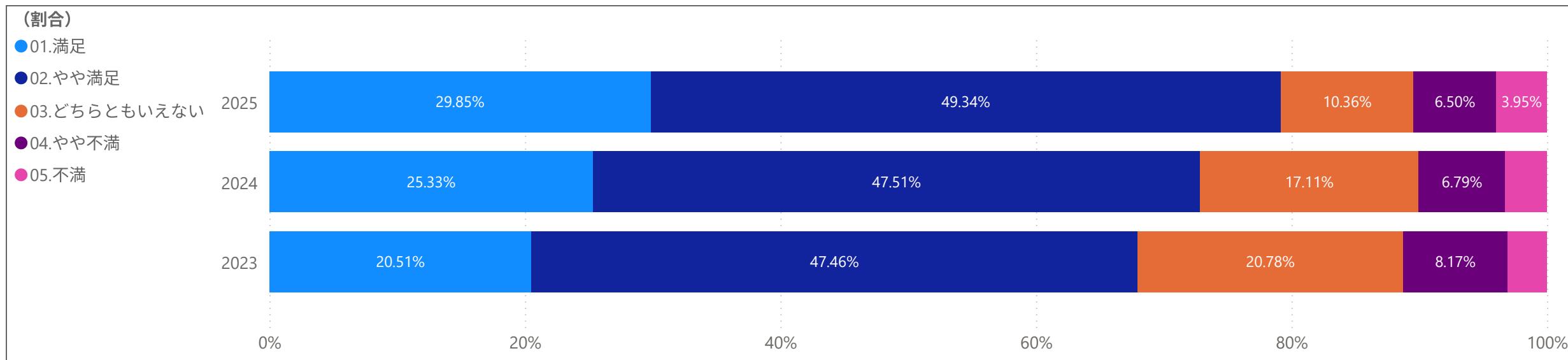
何らかの奨学金を受けている学生の割合は、4～5割である。

20.都留文科大学の奨学金制度・規程について、満足しているか



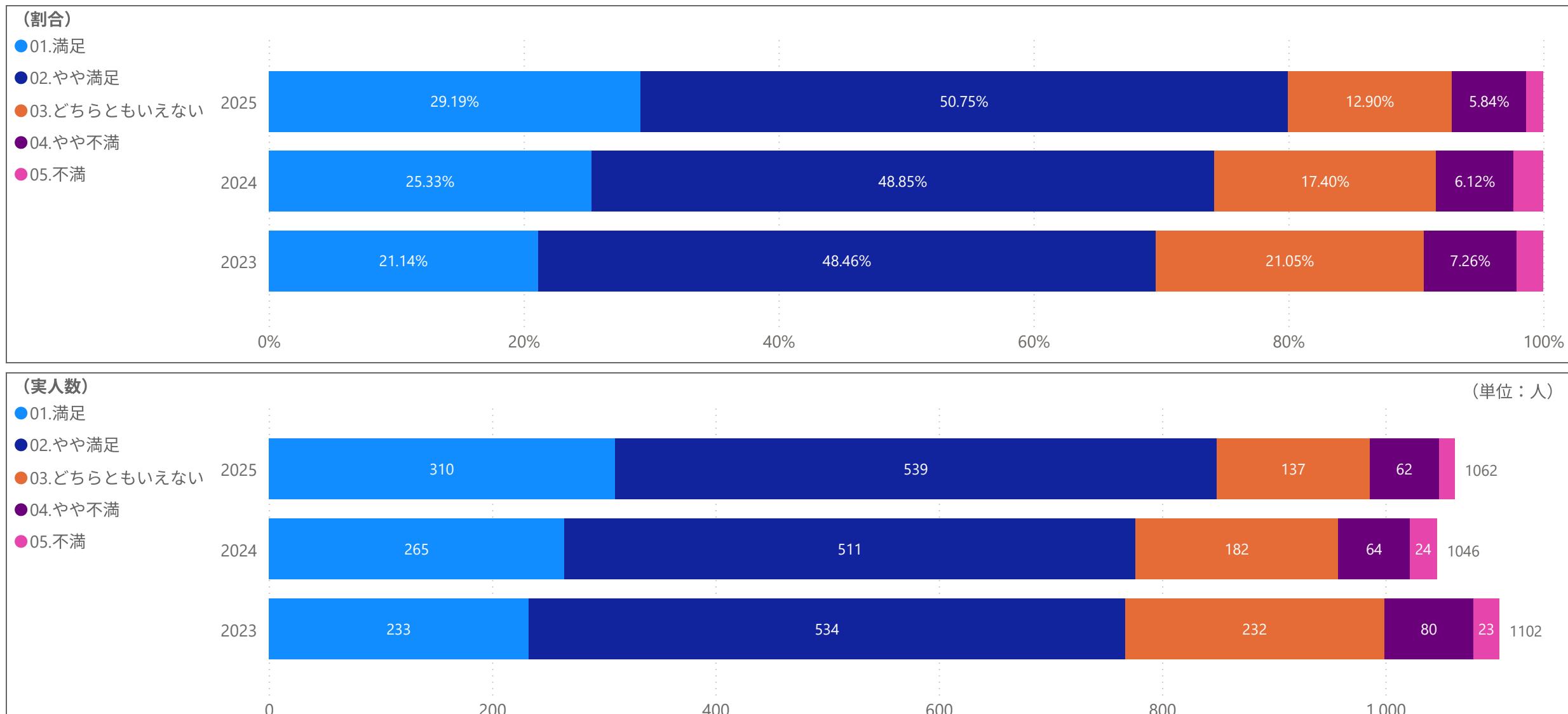
都留文科大学の奨学金制度・規程について、満足している学生の割合は約4割である。

22.都留文科大学のカリキュラムについて、満足しているか



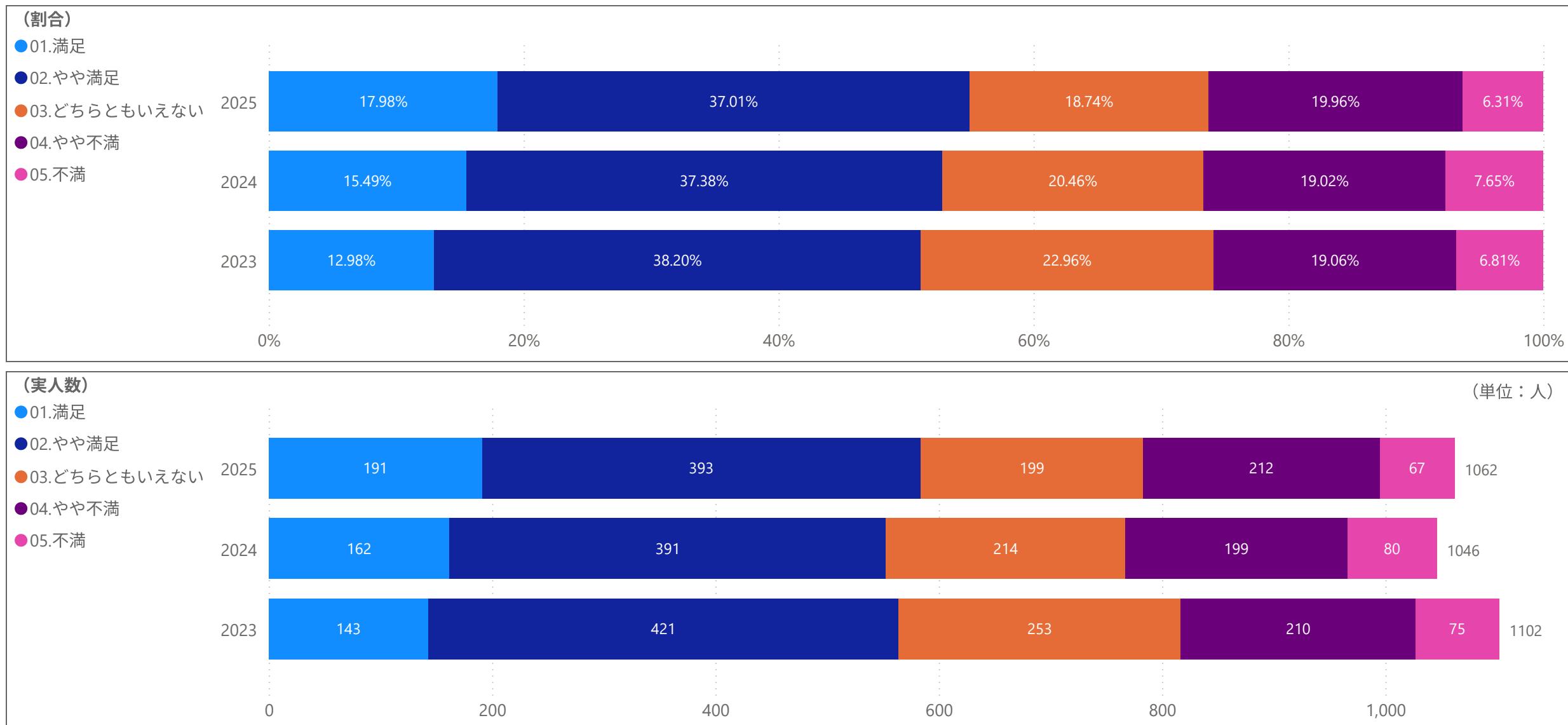
都留文科大学のカリキュラムについて、満足している学生の割合は年々増加しており、2025年度では約8割である。

23.都留文科大学の授業について、満足しているか



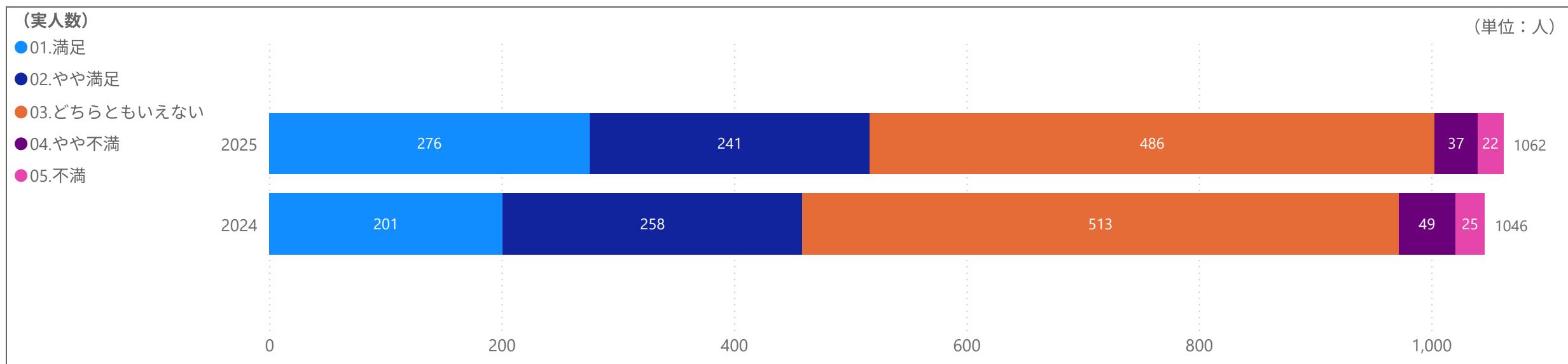
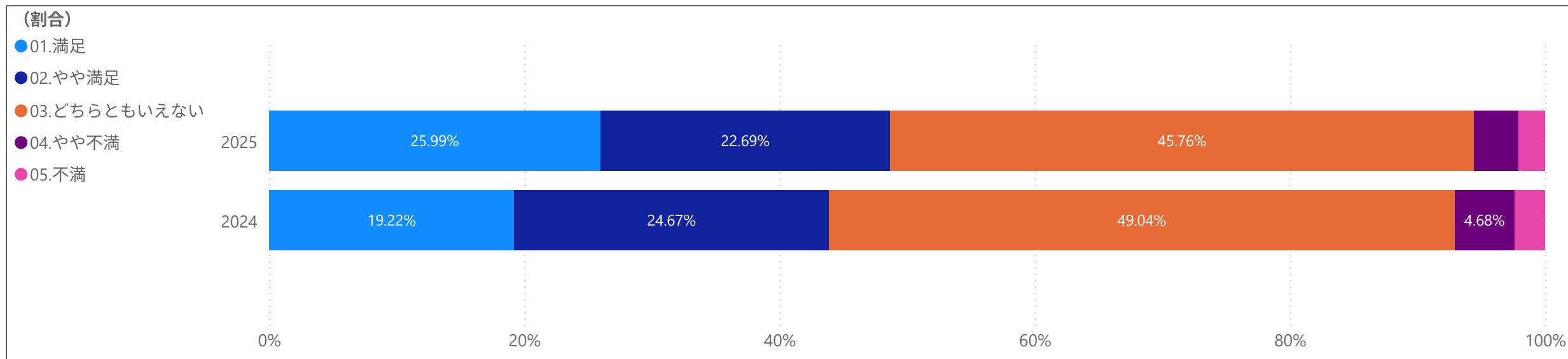
都留文科大学の授業について、満足している学生の割合は年々増加しており、2025年度では約8割である。

24.都留文科大学の施設・設備について、満足しているか



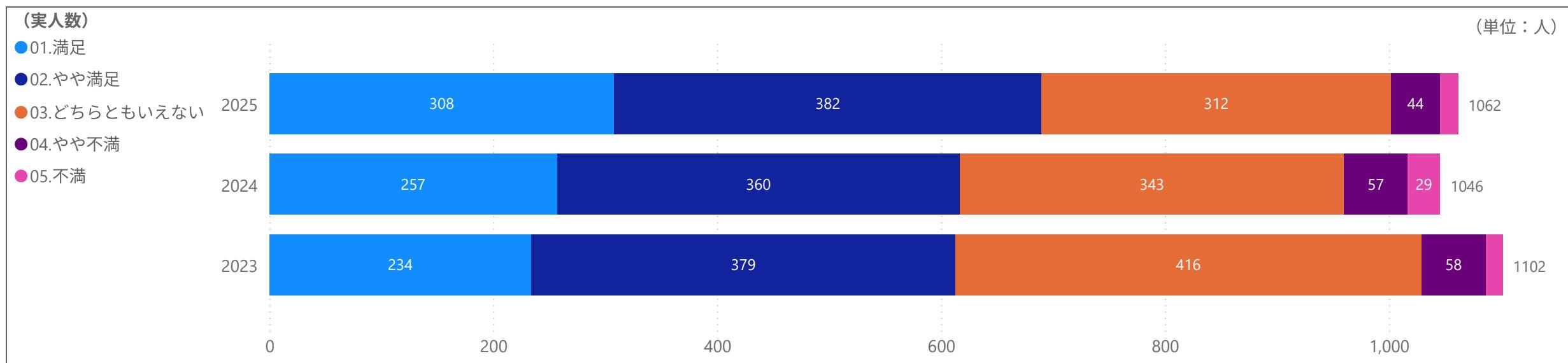
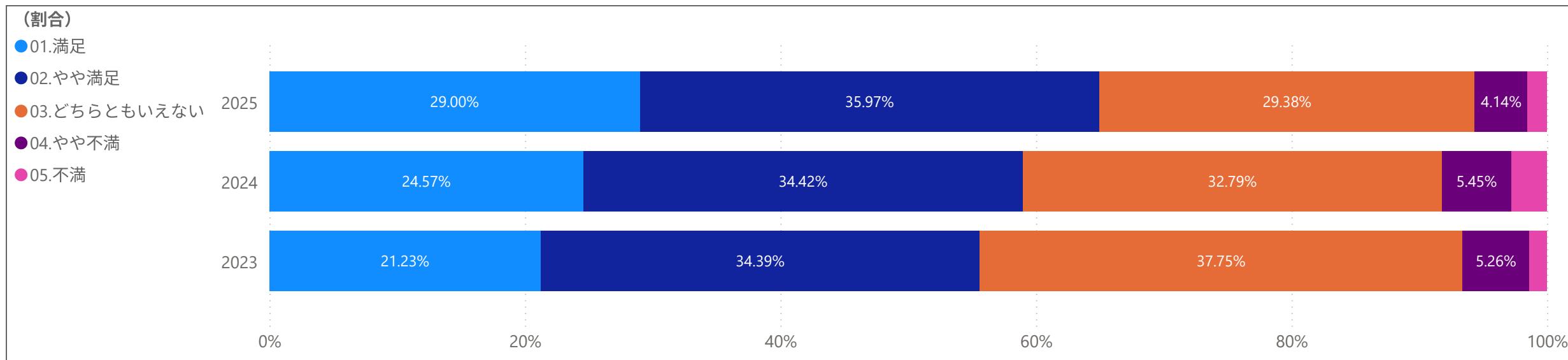
都留文科大学の施設・設備について、満足している学生の割合は年々増加しているが、約半数にとどまる。

25.都留文科大学の留学の制度・規程について、満足しているか



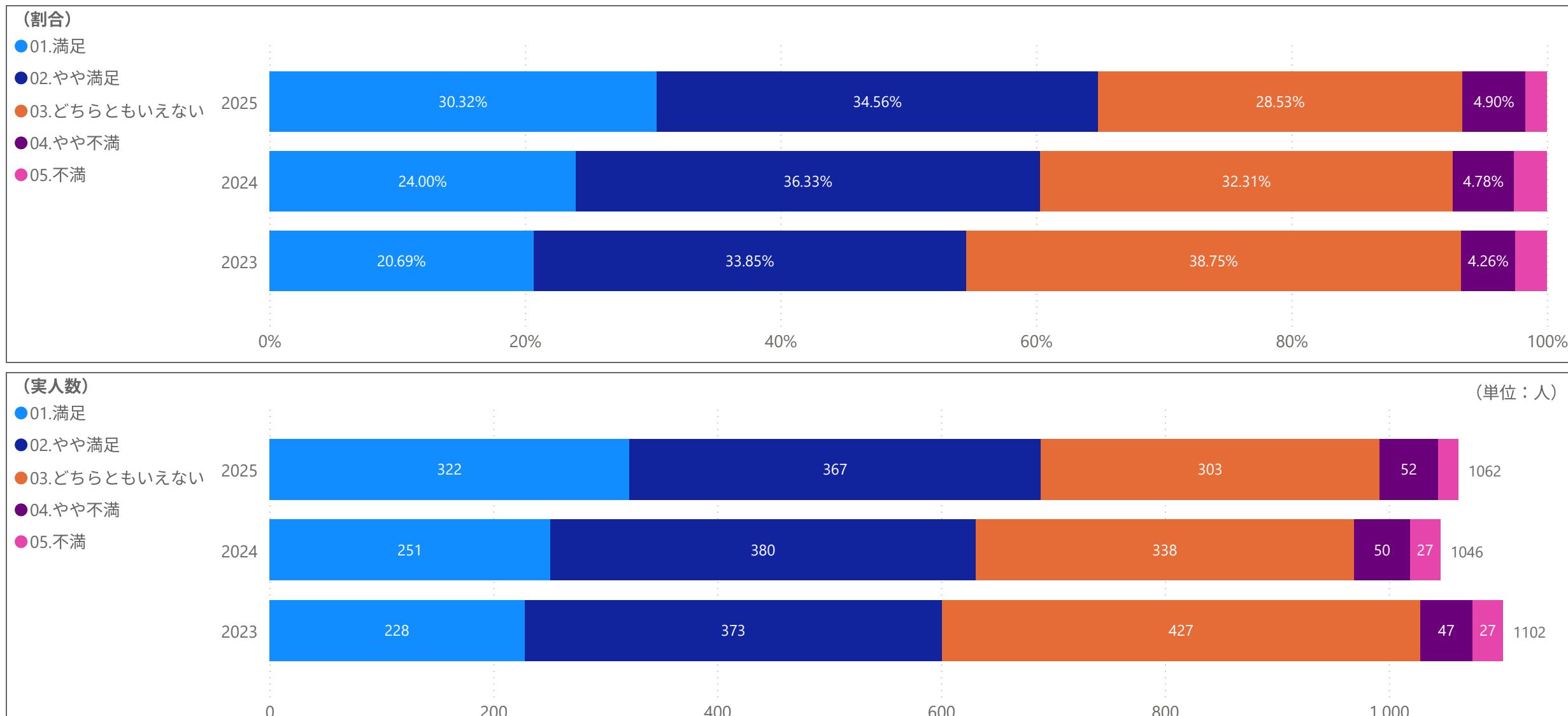
都留文科大学の留学の制度・規程について、満足している学生の割合は増加している。

26.都留文科大学の就職・後援会・保健管理などの学生支援体制について、満足しているか



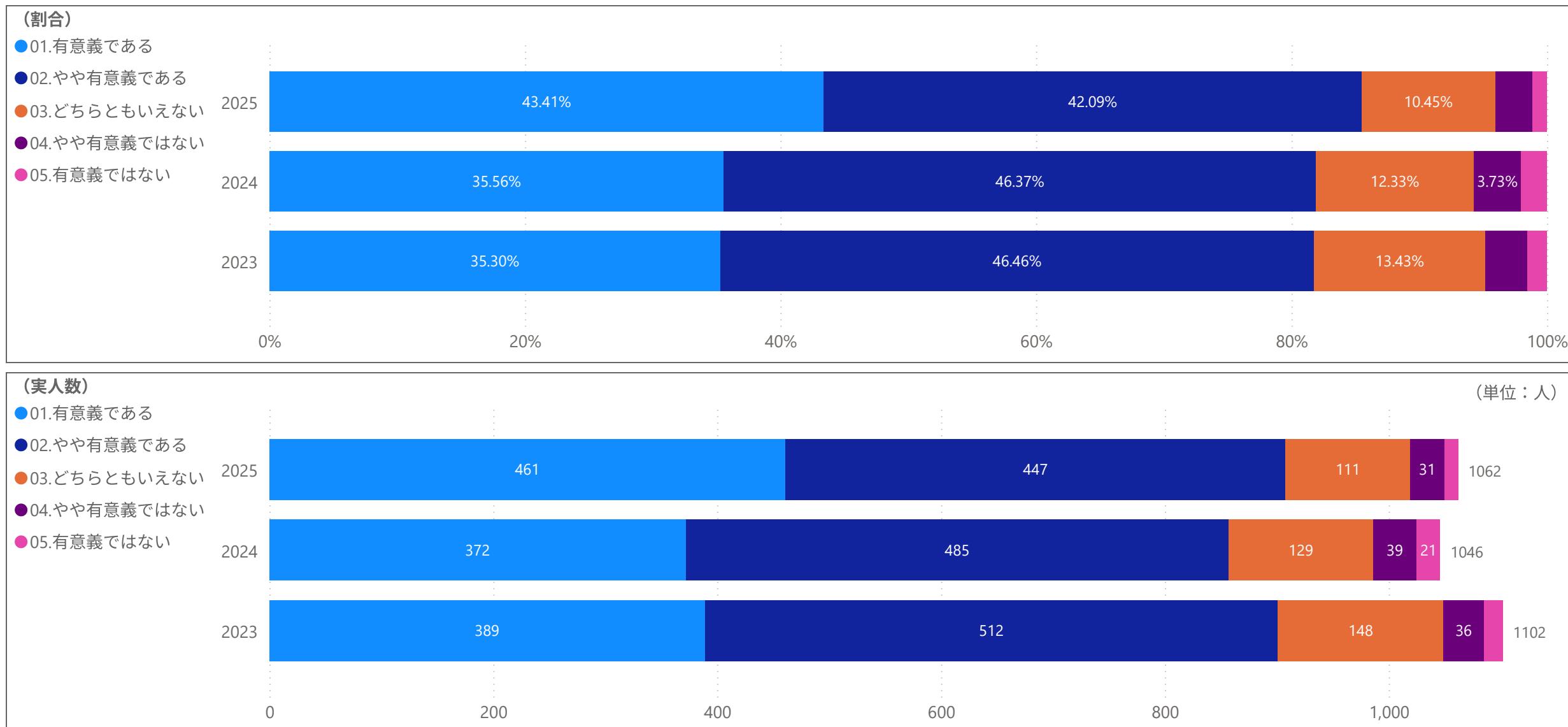
都留文科大学の就職・後援会・保健管理などの学生支援体制について、満足している学生の割合は増加しており、2025年度では6割を超える。

27.都留文科大学の就職や資格取得のための講座について、満足しているか



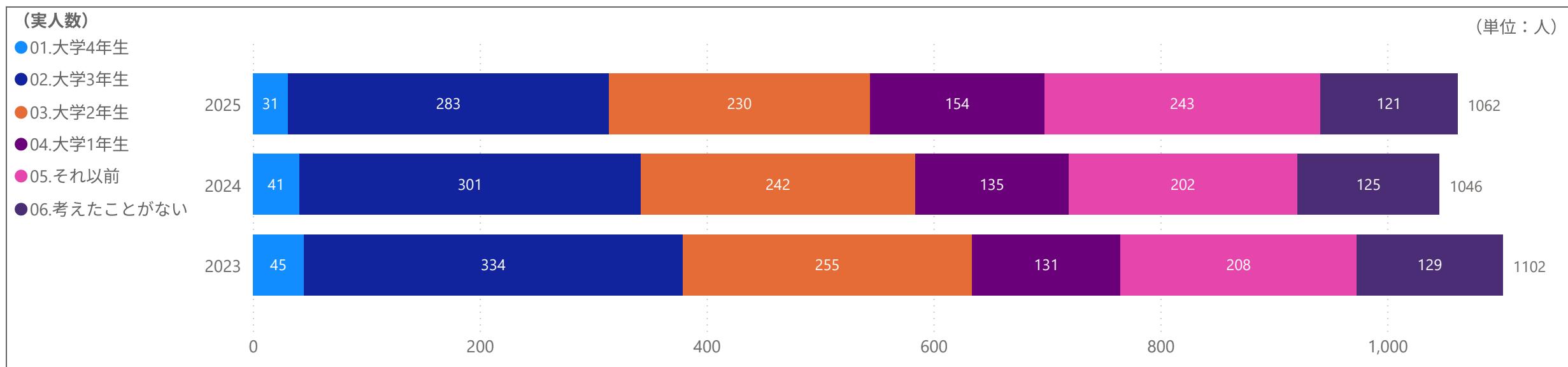
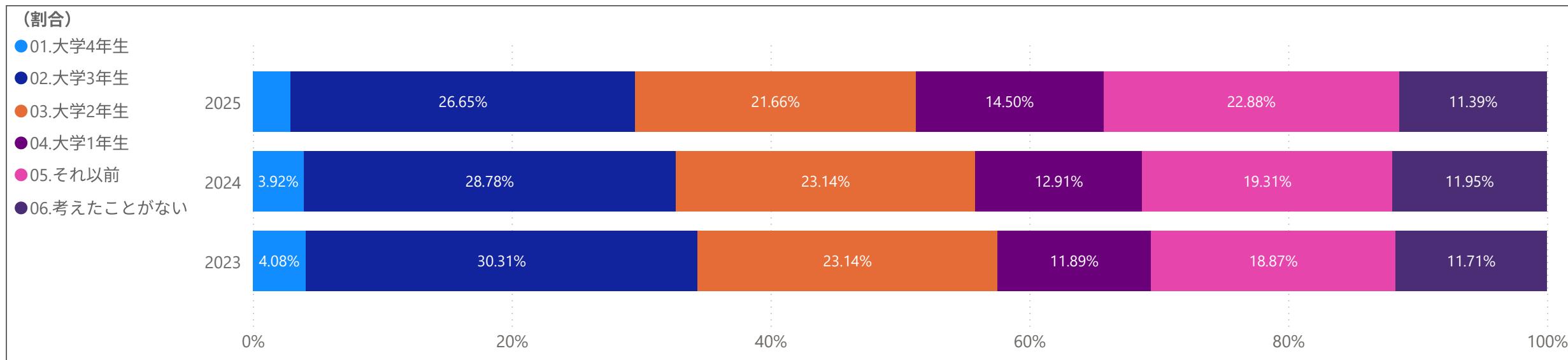
都留文科大学の就職や資格取得のための講座について、満足している学生の割合は年々増加しており、2025年度では6割を超える。

28.総合的に考えて、都留文科大学で学んでいることを有意義に感じているか



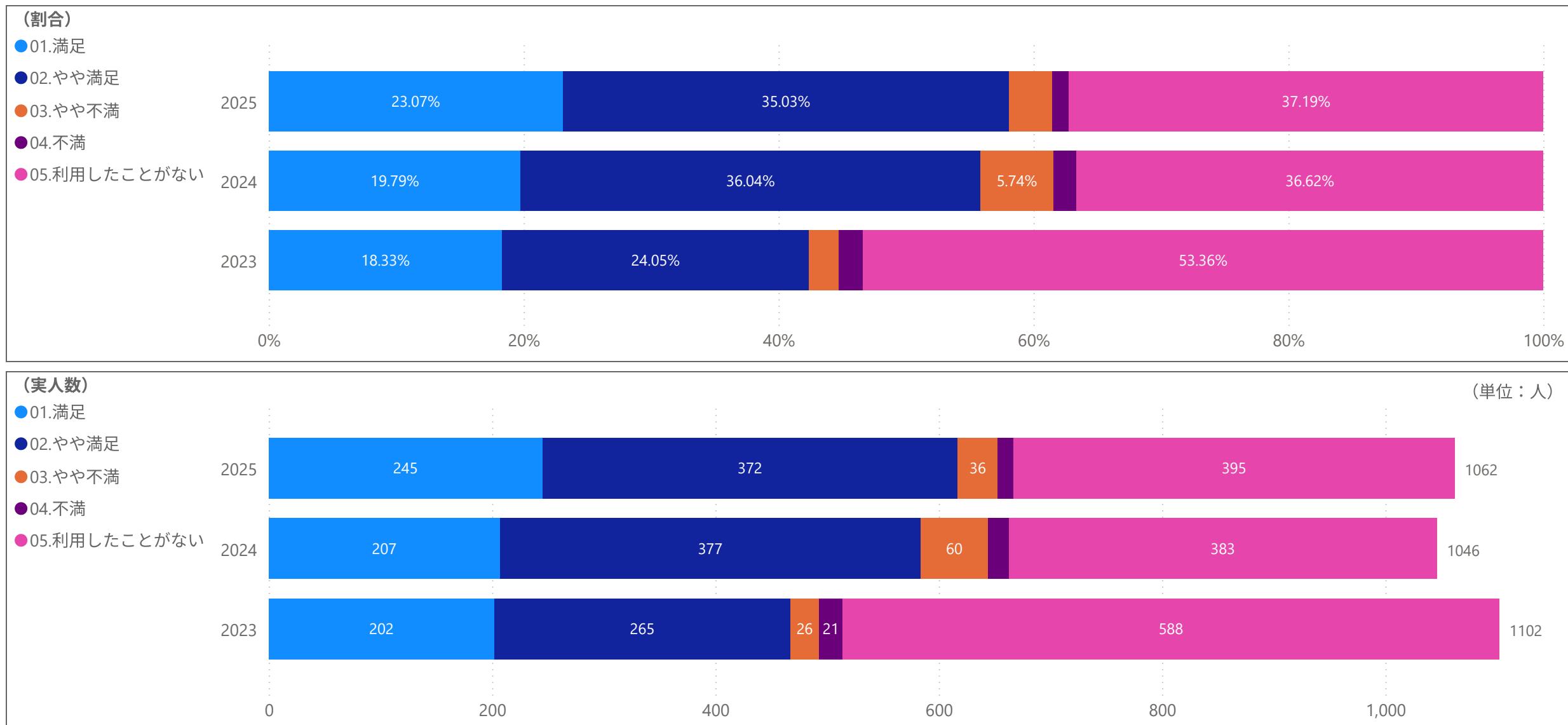
都留文科大学での学びを有意義に感じている学生は、8割以上である。

29.いつから大学卒業後の進路について、真剣に考え始めたか



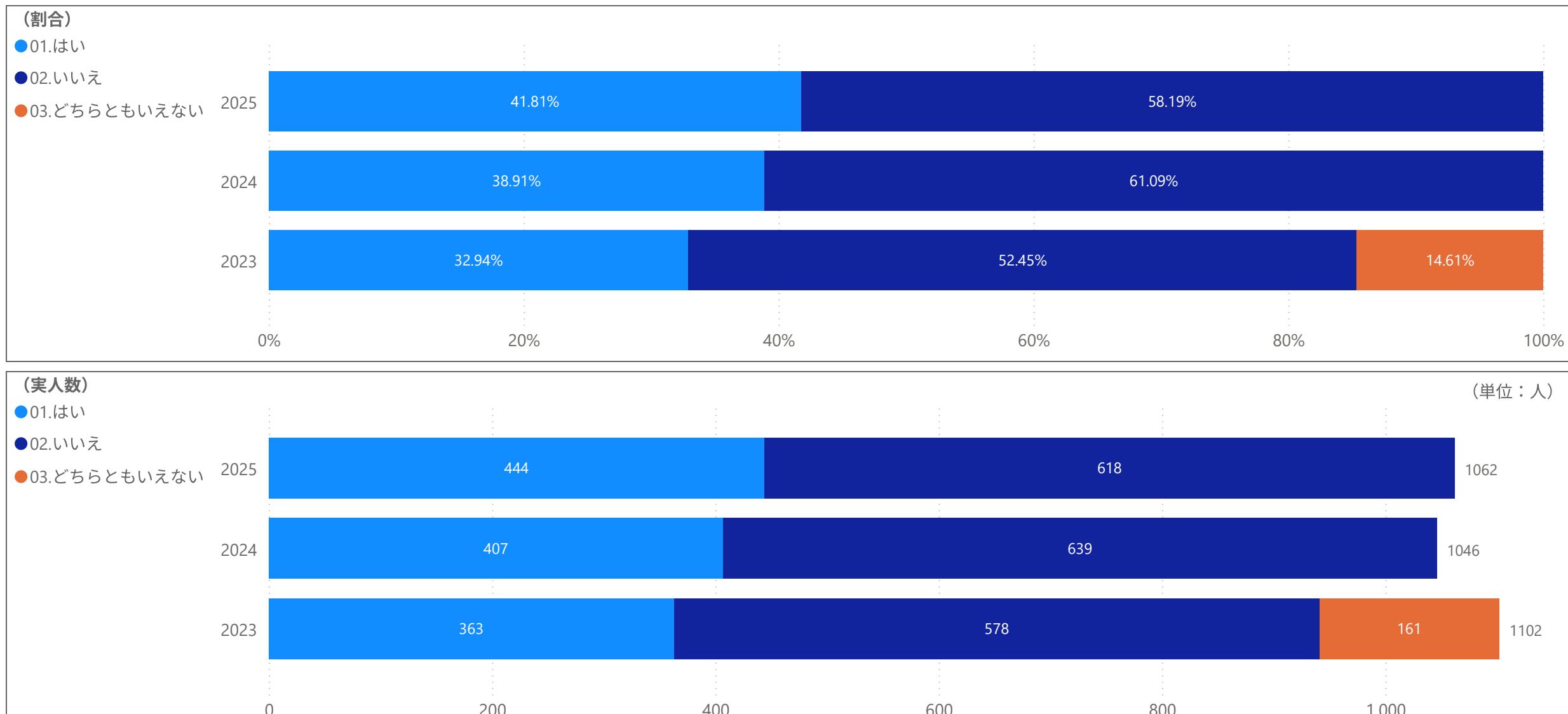
大学卒業後の進路について真剣に考え始めた時期の割合として最も高いのは、「大学3年生」である。

30.現在のキャリア支援センターの活動に、満足しているか



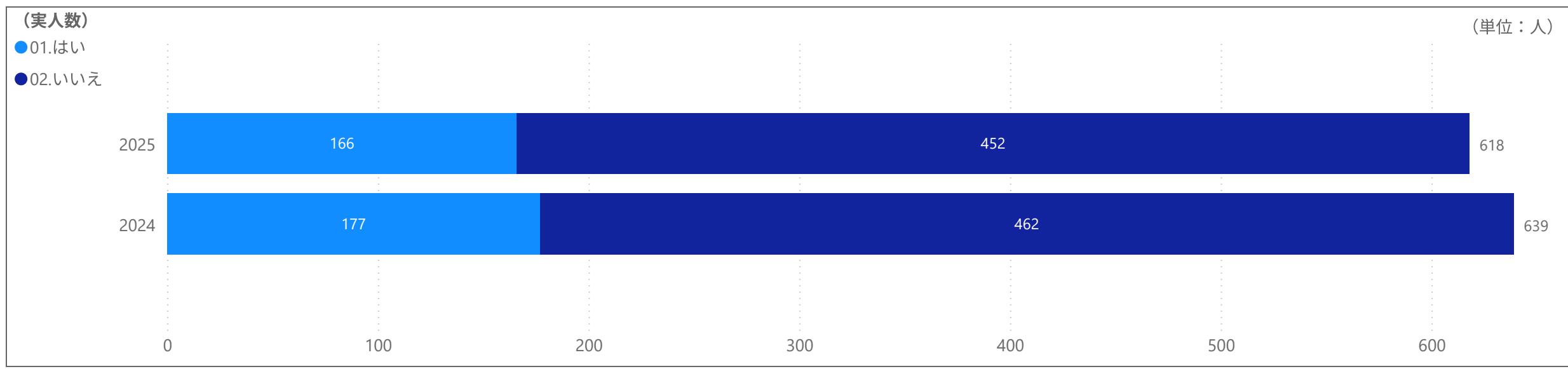
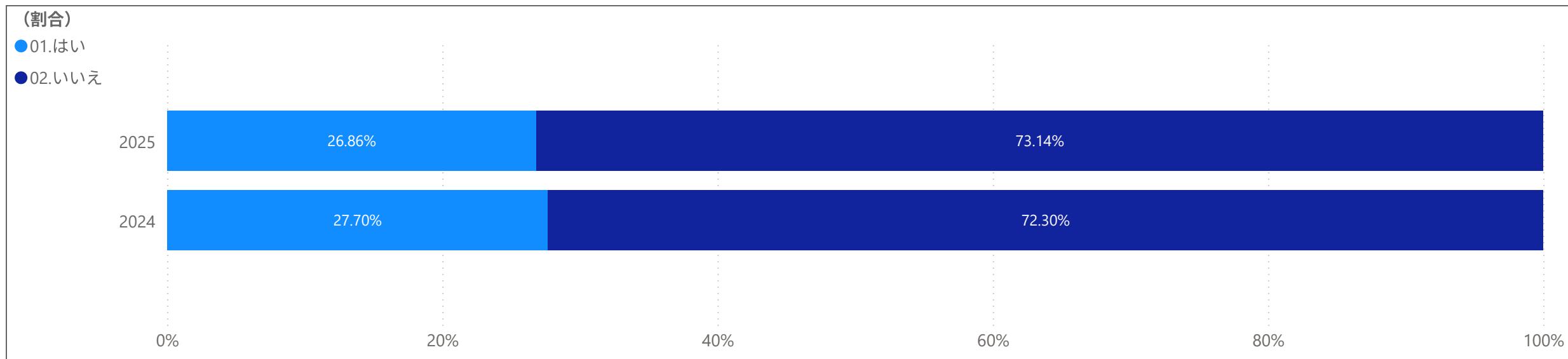
2024年度以降、キャリア支援センターを利用したことのある学生は約6割にまで増加しており、そのうち活動内容に満足している学生がほとんどである。

31.卒業後の進路について、教職に就くことをを希望しているか



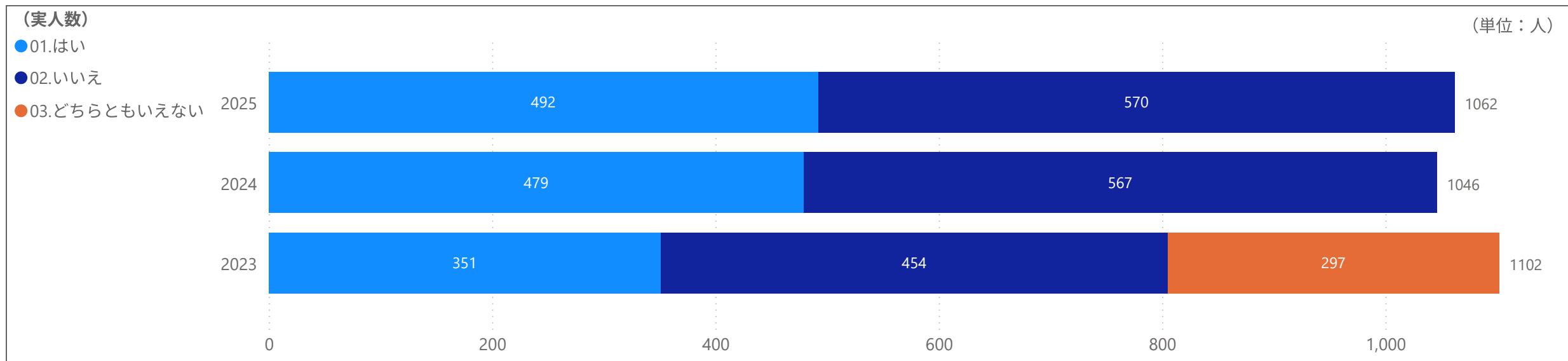
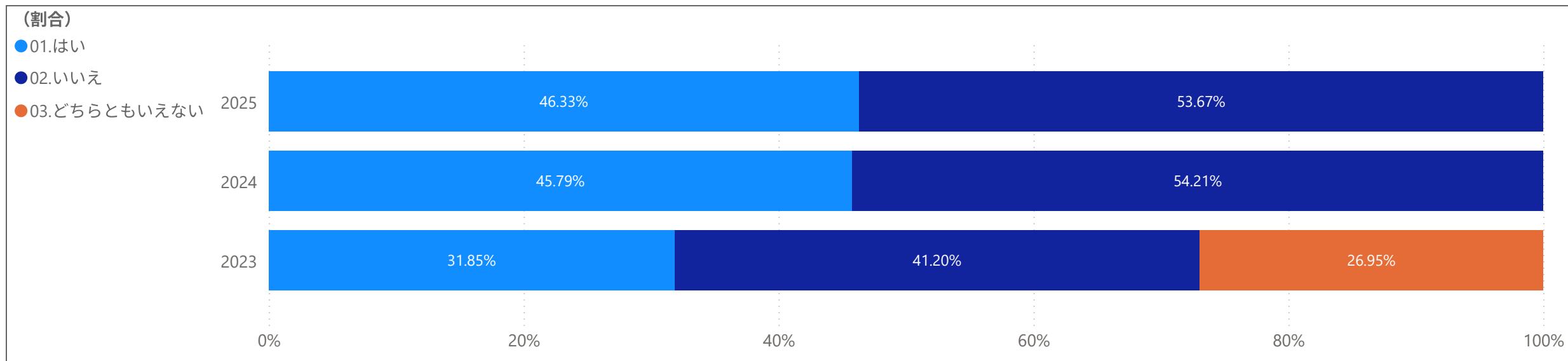
卒業後の進路について、教職に就くことを希望している学生の割合は年々増加しており、2025年度では4割を超える。

32. (31.で教職を希望しない方のみ) 教員免許の取得を希望しているか



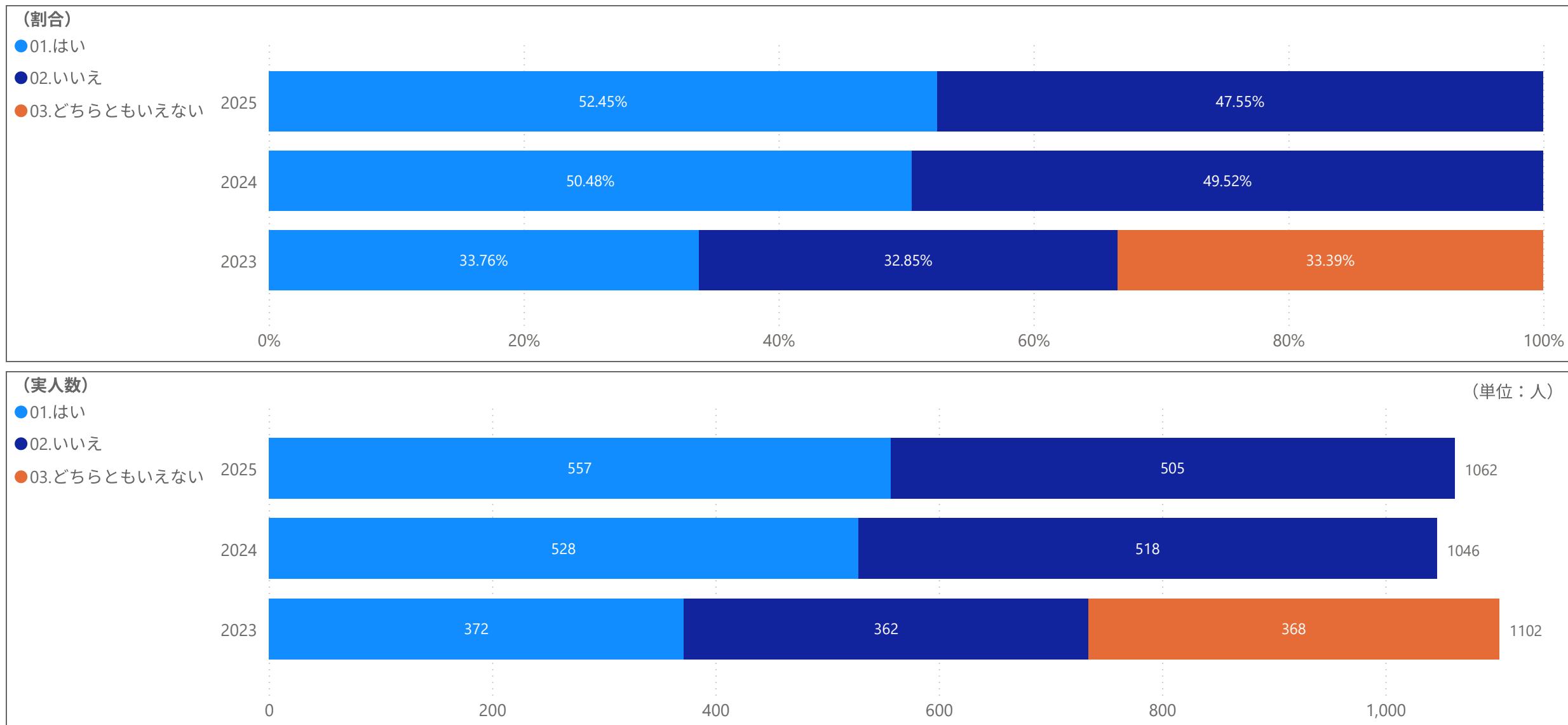
教職を希望しない学生の約3割が教員免許の取得を希望している。

33.卒業後の進路について、公務員に就くことを希望しているか



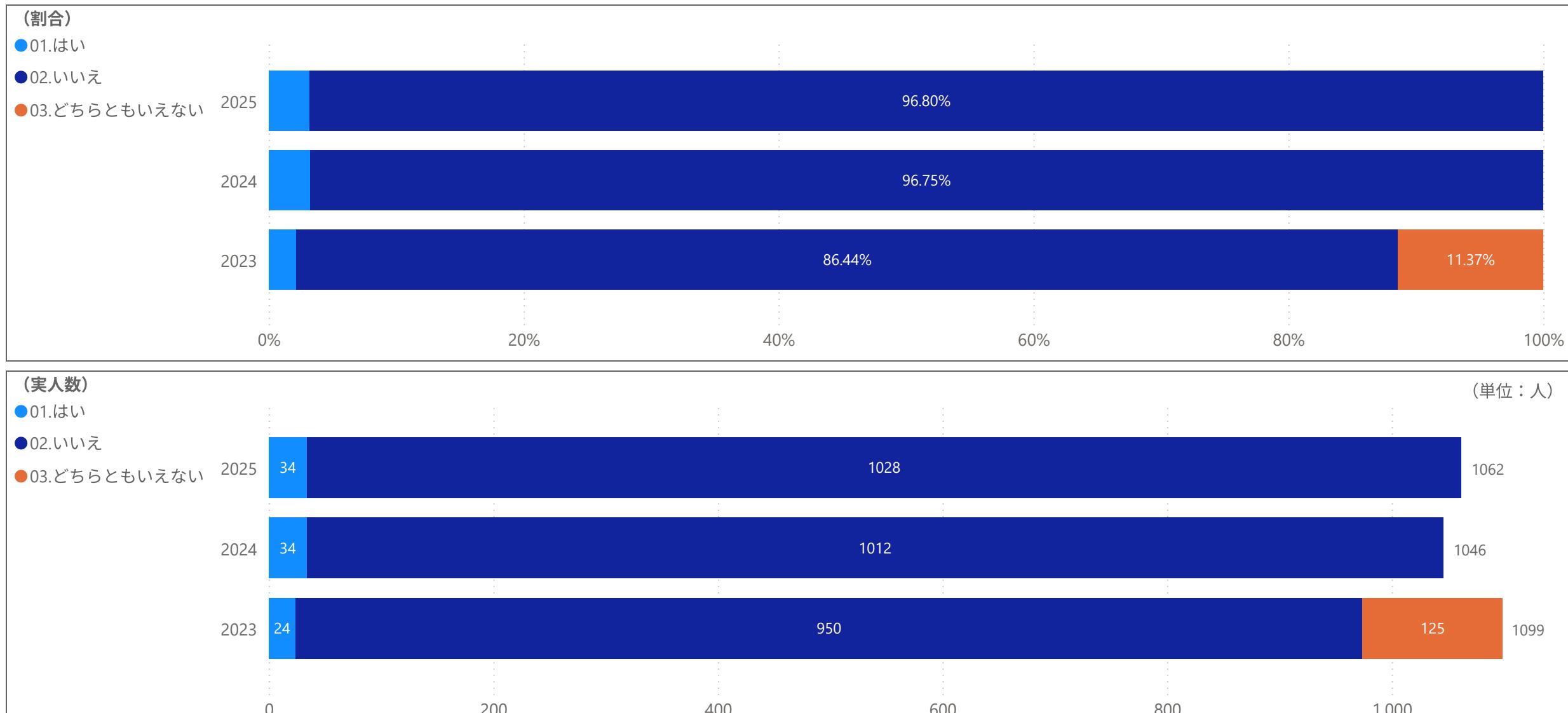
卒業後の進路について、公務員に就くことを希望している学生は、半数に満たない。

34.卒業後の進路について、一般企業に就くことを希望しているか



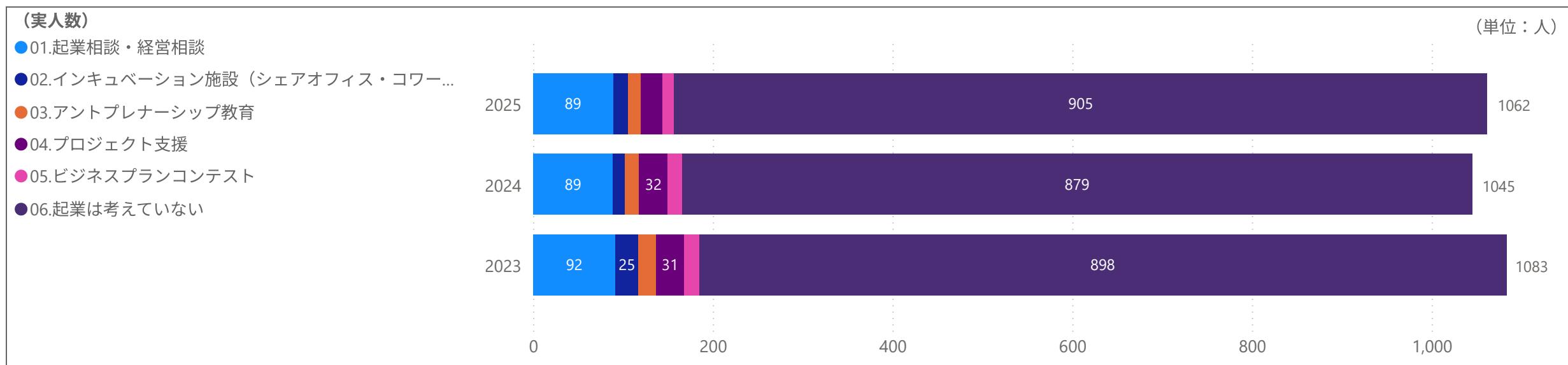
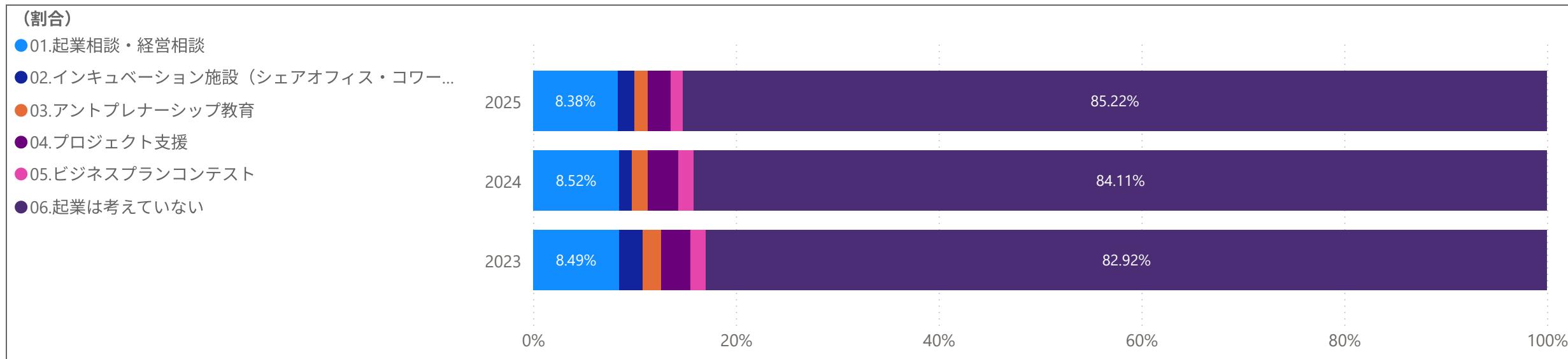
卒業後の進路について、一般企業に就くことを希望している学生は、約半数である。

35.卒業後の進路について、起業することを希望しているか



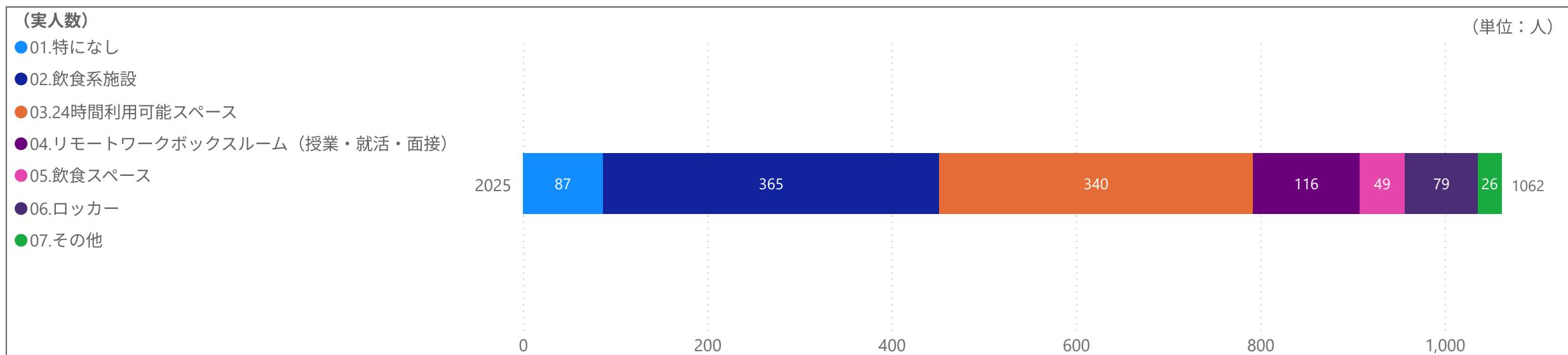
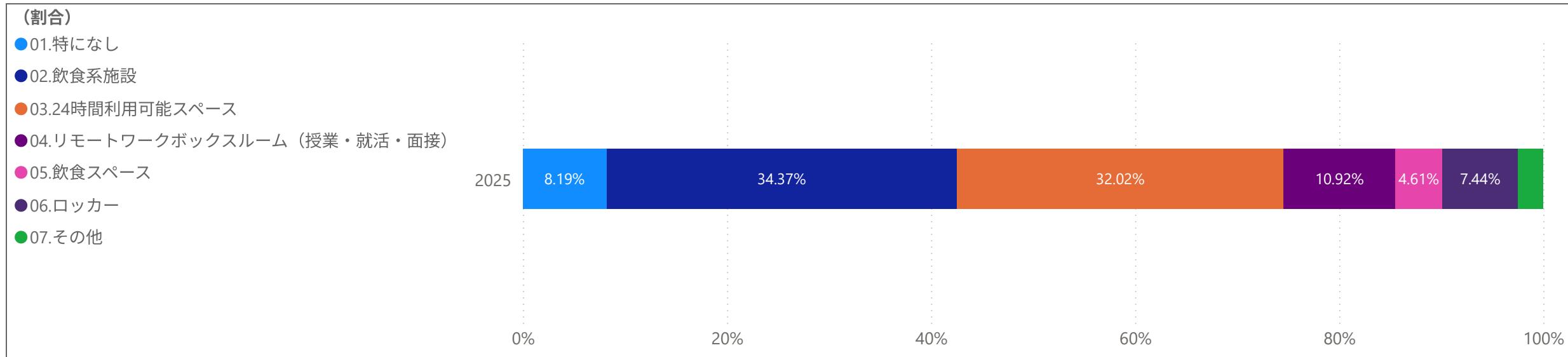
卒業後の進路について、起業することを希望している学生の割合に大きな変化はなく、2~3%である。

36.大学生の起業についてのサポートがある場合、どのようなサポートを受けてみたいと思うか



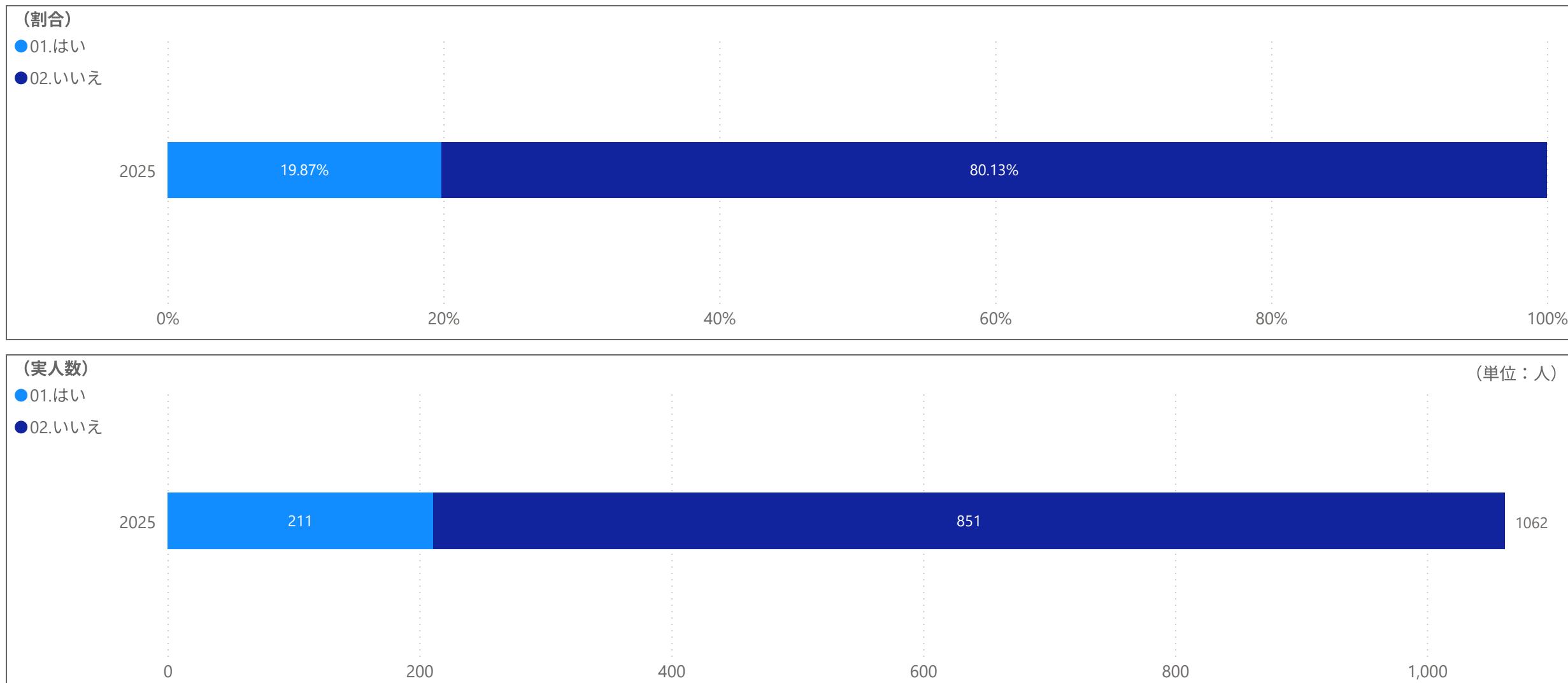
起業についてのサポートがある場合、「起業相談・経営相談」を受けてみたいと回答する学生の割合が高い。

37.大学にあったらいいなと思う福利厚生施設



大学にあったらいいなと思う福利厚生施設として、「飲食系施設」「24時間利用可能スペース」の需要が高い。

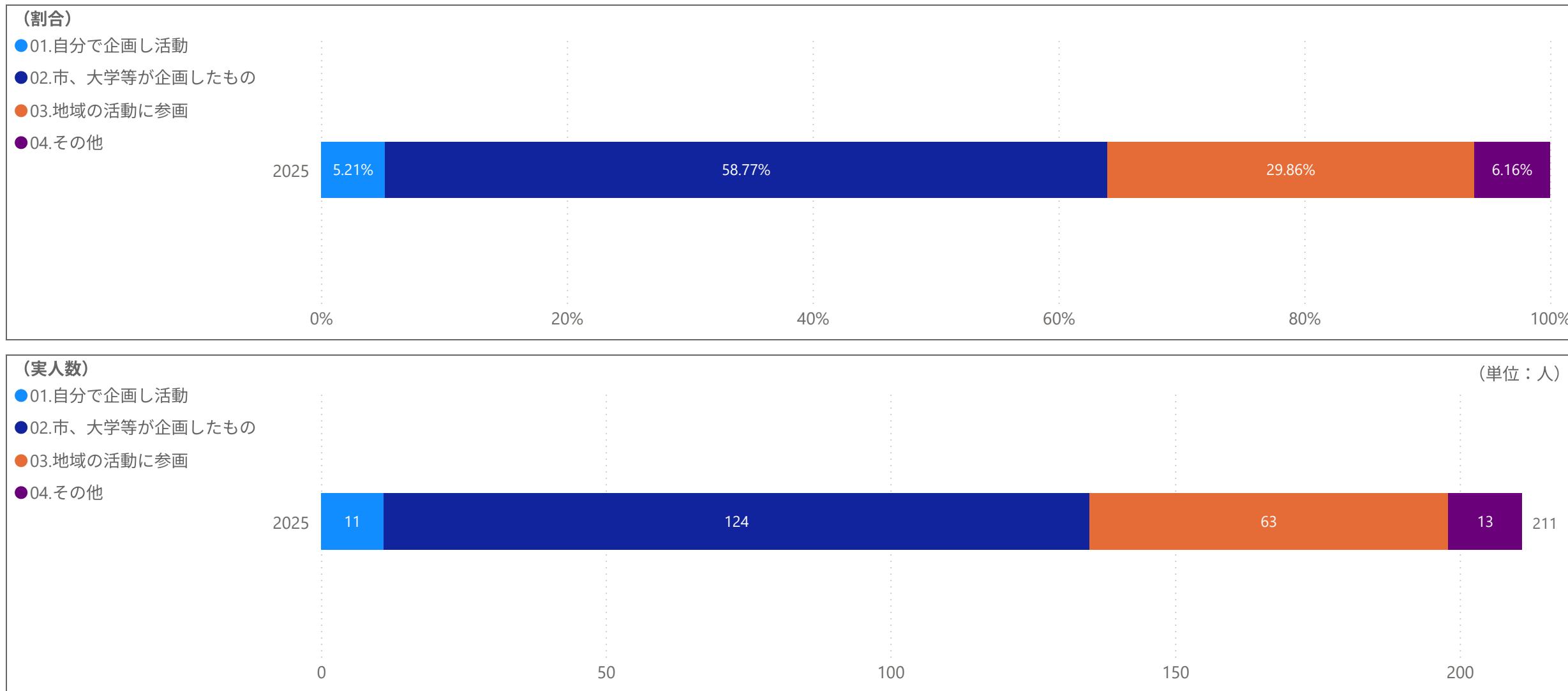
38.あなたは、地域貢献のための活動に参画していますか



※2025年度の調査項目

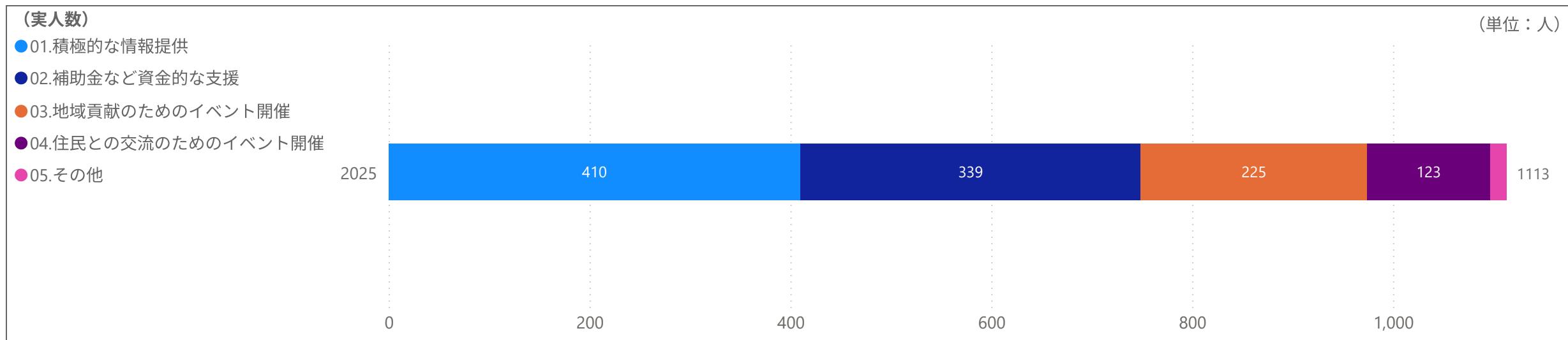
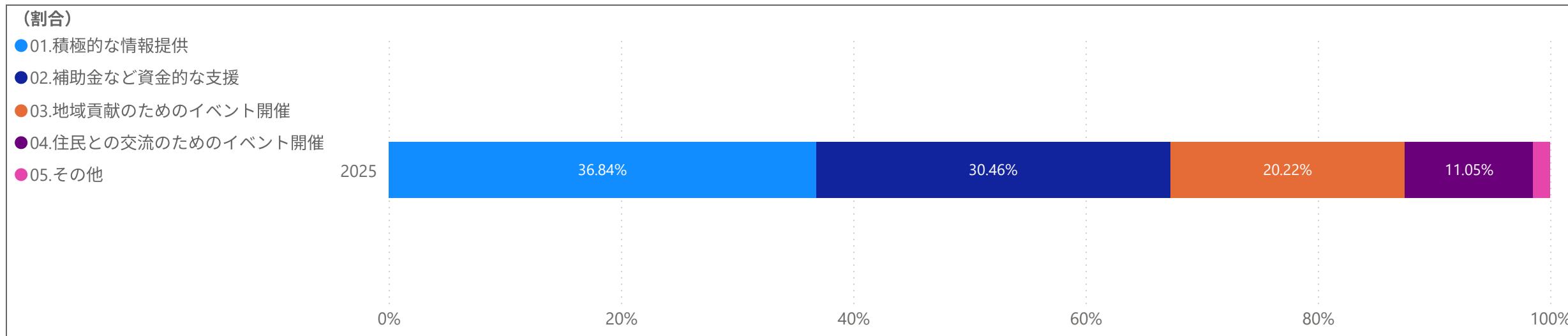
地域貢献のための活動に参画している人は、約2割程度であった。

39.(38.ではいと回答した方のみ) どのような活動に参画していますか



※2025年度の調査項目

参画している中で、市、大学等が企画したものに参画している方が半数であった。



※2025年度の調査項目

支援について、積極的な情報提供、補助金など資金的な支援が7割程度であった。